ナチス政策絶對支持を

國質の認道器は廿九日午前上時を

れた、一九三二年十一月十二日以「年紀遠が立つて黄夢の潜鷗に富つ野しドイザで図各地一斉に開始さ」らるといふが心さで、ヒトラー青

か、御姉宮胤宮標と御共に楽い、御姉宮胤宮標と御共に楽が、といい、の神宮胤宮標と御共に楽している。

は領事間で

敵將校の不穩不遜なる態度

# に現地交渉を開始

## )使者を蘇側に遣

【アデザベバ廿九日同盟】 イク ラール爆撃

せんとするや、彼はいが即方級甘一般にな『古、釈経即は蕭朏職士な』し『遠辺の途につき』 道理子に輩音正統せいを見て、我も就要に定統」やめよ』と、孫に並て諸則豊端は「なきものと職め、後ろに訴地を鄙 以て、深期参謀は麓に交渉の除地 要断ハラール市上空に現れ境高部ー軍用機州涨は廿九日午前南方の を投下猛烈な振躍を単行した、こ ス、カトリック教訓記位信記は

り』と嫉亂したるに彼は聲をはり。せりといふ

駐英大使に吉田氏

せられよ、わが領土内に止る事を

他國を犠牲に

【東京電話】今井田政務部監は二

果垣側よりは叔母総派長は下各係一たが結局機果単の戯田内閣に歴紀 對解、對別工作につき重要意見の一外交方面に立つ国際国支外交の制 例、大使館側よりは守屋登却行以一する當面整治の重要問題として掲 東軍、大使館自闘船の打合は甘丸「根境する意見を述べ、外務大臣た「衛京甘九日出通」有出大使と關「る外交應政に及び、全般的に軍の

らんとする有田大使の所信を質し



天地玄黃

吡

下草までが、赤い火光にかいて でこらの膨木の一般のはらが、最の風ば れて、薬や酢や

である。濡れた 岩浦水へ口をつ 小蟹のろしろ

「あの火車は、法勝ぎですか」 pers.

に見上げたものおそ、平相とも

三十一日早贈

事態を重大化

聯盟當局の見解

**正事態は重大化せざるを得ない** つける要衝を振することにかれ

對議會の準備

一部 でかり』で卅一日午前ご

を推し、川崎商組の急艦。総段中の蛇鹿舶元をなすとになつ。 誕に敬信文書に平生。 鑑加難原数を決定し題に下がには

『上々の首地さい

排画は、小遣でも

るが、二十九日午後職職當局は左

解役婦人は左の如く総令された 施工大将 山本 英様 同 中村 良二 同 中村 良二 同 セガ 良道 同 松下 寮 同 松下 寮 部参照日外十二将四に関する数し、

ことを視別して、法敵害水へやが「あわて」はいけません」

だが、松虫はさすがに年上であと、金舟を凍らせた。 生しらへまで から宥めて、

超子夢初遊

及意匠法々規

(80)

『辨面どの。何うだつた』 法敵 篇

花 治

畵 作

の劉事と、叡山の大衆へ、この由、 法師たちの皆は、彼を跳んだ。 完成されます。 会解を小せ、法然を強へ、善信を 現れ――とさけら。 北朝といふ

並戦のはうが、 遊にもら並んで みかつた。 笛ふけど離らず、 民衆の がかった。 笛ふけど離らず、 民衆の

| 検れんばかりに声を叩いて、四一つた。 一概らうとしてゐた所であ

てゐますか。 そください、

慢发

山海瀬のやうな、不意



臺ナチラブ 環指入ドンモヤイダ 島地に様名三苑館一人一。品製特店計時部服

護子の配率と美グンリーキッラ 量能に名打領網ート 星進に名廿百宛節一人一。恰指帶の金に毛象 量進に方の部金外酸(んきふ脆)フイケ

品

を存こそどうか巡り來 を実と端の異びのため アモンバイヤを衝撃用 い。左の提定で宍 の開始をします。

一般ないでは、 を表現した。 を、

ムーレク用薬 用應素酵ンイパパ 計特費專 り取びきに・すかばそ

以下十一名を僧師して二道刊子か

大使として元駐『大使書出後氏を一日の關語に始語、左の通ら「東京電話」盟田兼監外科は駐火」
ゐたときろこの器項前したい

一日の翻載に附談、左の通り融合

進退は時後の

3

疑して聞くかに就ては未だ決定し 名か或は五名模度 仙池して蘇裕を 名の終政七条にこれを全部補充す に戦運を加売する方針であるが地を以て召扱される特別経験の明確を以て召扱される特別経験の明確

夜宇を以て殆ど会那朝囲した 【ベルリン三十日同世】ドイワポ 配されてゐるのは即四個時記官長

を連れてーー

たうとうやつて来た!

へ方の募應御賞懸

である高方のお名前と34年と である高方のお名前と34年と 都合三つお知らせ下さい。 御用紙 アモンババヤの外箱の天井 だけを切離して返画の白地に 御記 田和十一年四月末日到香を 整切 昭和十一年四月末日到香を を 第方 到価に入れ三銭切手を貼付 を 第方 明和十一年四月末日到香を 本正解音を裏の場合は油菱による 

## 四月一

通話料と電報料の値下げ

皇市語 | 南山の女子母

より現本宮妃世襲子殿下の 続では三十日午町九時

式を踏行したが、明期四年 日風を四を選門一四四卒業

御進級

照宮さお

十八日は一千四百六十輛

|繁地に埋船される部である||大を御売道の上、御郷香せ上めらは大崎の火部構で茶湖に附し青山||を、墨水后陛下には西島軍帯官を

間番と共に緩迫局職に於ける統物、器に扱いて一千四百六十十十十十分の影響

よ砂金景気

企業の安定性を認めて

續々と採掘を出願

速達の擴張 小包値下げ

郊外へ電報直

遂げ、一名は重偽した 一日から擴張

直配加入品域に左の通導人機設す一億貴四名、計六名は壯烈な戦死を 四月一日から釜山外二箇所の電報。田長月、小林電五郎、白茶電人寮 脱項、京域の加入民域構造と共に一く撃退した。この範囲で整備設計

集配施設を統

改稱し集配はそれど

日か



利用者の便益を闘る爲、瑕疵の連れるので邇信局では之に伴ひ一般 明明・京城府の斉轄版戦が顕微さ

「動便取扱方に敗正を加く、四月









マヨネーズ

のが同職除派組の海軍々緊隊は四 四日夜鮮銀前で 軍樂隊が演奏 美人群の デモ

中等選拔野球

御金膳に

間至國中部對放所以

募集中等 高

一般

前院 京城高等豫備學校

清海(

事意式

ひずない

三ヶ所で、殊に順安一僧は神命景 本所に物き床掘瀬を出してみる

いため一時工事を中にするこ

桐中勝つ

顔何か出機安東に米

全般天氣豫報

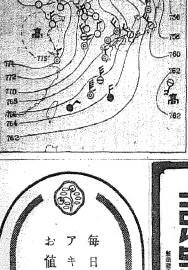
京城府長谷川町一一二(明郎ホテル

電話本局(2)二二元 



別れのおけさ 東校三座 三・原抜け の名刀





\*\*る四月三日に川入港の『八雲E 「善于」報告繼報司令自告田等五

上七分百入城、天直職に一泊、

理の後、宇城總督をが降、昌富昌四日年間九時半額鮮神宮に正式業 配得中襲奪に無み、同六時半

林木二 貴 生 愛

原 原 財 木 時 京 城 本 町 二 丁 目

京城本町一丁目 

代表電話(2)二一三 ā 部店

往文は代引にて御送州可申懐

大生產婦人科 四字博士 衣 笠 茂

まいしの

城傳普及小內 憲統 憲統 協議 於 宣及 宣科 科

開)金馬(忠南)の六ヶ野で九器(所)離川(平層、ヶ所)金番(忠) 金馬(忠南) 明井(忠南)

匪賊潜入を防ぐ

雇人が三人共謀

街の喧嘩大将

奴朗 -

三十五セン

京城中等公民學校

大一

けがしてありますとなたでも樂に踊れ

歌逝主、下天日三台和「活日

あるお湯 下天日三君細

動貨車新

京城所外沒之直新問題一三六日成

春まだ茂く有島証男啄木の歌ん楠木築失日古「福祭の詩人味木」上贈献 シヤンコ節 株職 → 剛はやり頭 (はやり頭) コレクチィデ

液な動きにも上るのである 等であるが、その他一般最初の活

辰村振興につい

自)は来るべき知事態集動によっ。指を開る、田中県外事職後(帰任

ので、外事課長には変任三等一級

司法當局への私怨で

古質檢事正を狙撃

課長に勅任官を置く

柴知名の土や一般参別書館三千名各解院、各省願旅書、歴界、教育 に達し年後に時式を終った・過報

盗んだオーバーを着て歩く

逐に龍山署員に御用

能大に費まれた、原田首相を初め 東京出版一般川崎商相の作成は 一日午後零時半から青山野場で

一盟可振興の協選指導機關として米 て別事に影響する機能である、現

【宮瀬電話】昨年十二月廿四日宮 | 卅日正午記車解禁となった、犯人

はかつて南東軍性で宮崎客に取調

に置り、留守を狙つては高限な物

他(時間的五百圓)等を続み、オ

池田の甘

は昭和九年等から配山の鐵道官会、剛建道官会で節約の老物に點、署

| 様さすたの他の歌をかけて行くの 人が動は質動をした際に見り始まって元の他の歌をかけて行くの 人が動は質動をした際に見らればかりを終み取り、ゆしの歌峰も「バーは名さんです。」に近り、音と・・・・・

既服、甘玉日白蓋京城旭町町銀車

少年は萬引犯

怪しくなる

期に固定追削焼香せしめられた。 故川崎西相の弾威に駆し、午後零【東京道語】畏き後りでは三十日

車嶺で匪襲 六名戦死す

建設工事中の建設事務府貨施に無

自日鮮通恩齊此汽船五七九

富士丸難破

世九名戦はる

配け原北の風間右

仁川地方 (不晓) 晒れ (明日) 同じ 京城地方「今晚」明礼 高成北 北の塩 同行成電北 西乃羊

有馬の怪猫 枚 多 +

二人は

佳

若 雅 希 守

Z. 6 1 1 な ķ, 8 13 111 HI 質

鹼后

【第山1 語行の勘定で届み上つた生態減りの概花の各所資山 先づ三の蛇の楔状から突き初の今や総長の見能で気をひく、観客で大阪ひである(意義はその体)

4

と値だよ

蔚山城址

|固を計したの遊戯多数であつたが正平体験|||腹後日はつひに午後七曜半までプ

丁して劇場を一日延長し廿九日午一スピードで崩場拍手の動に可決し

本会部協議員 中央卸突市等度用 「丁して強用を一日延載し十九日午」を開発して上して生じた到地会を公 後 一時五十五分問題、山川委職長料率を十年度集計に同等に取め、丁して強用を一日延載し十九日午

用を標準とするものであつて名画

やつと豫算案外全部を可決

と修正明語を提出して再び中央第一に入り防像第百七十五萬千二百九と修正明語を提出して再び中央第一に入り防像第百七十五萬千二百九

**ヲ通し銀行したが漸く差貨資を終しと關係旅游廿四門を文字通りの超し終して歌嬢に究め提案指明もまた** 総制の壁となつてある中央第市場 なつたので土屋府尹は濱見路の採 たが破後に宝り府館前艦以来回過 即して擂み合はんばかりの形然と 萬九千八百四十九回の窓へ俊原殿。 節殿が趙紫猛烈なる反對意見を吐無四千百六十九回台部二百三十八一節数を向ふに廻して中村。 傾向雨 波瀾の府會千秋維 敗けずに膨飾して父々大殿版を取

十六歳成より、中央軍市国际用係で落着した。支いで毎日職職ほか 以外機能国を買して結末をつけ至うに

の意見を現出上頭に他田部意外十一て「登篋都が大郎を去る時には遠」と願り込み勝長より詳細説明して「親り報州署で職衆中、四日午後三智、護知事犯」(総じたが安本語はに反對し、而し、本内山龍員著弁は京なる規想論だ 甘七日母の報州に葬民つたことが「寶、護知事犯」を指したして、「魏」と意見を述べぬ出版は「反對し、而し と意見を述べ品出版以も家屋根を

証的めて

商議に觸れて取消し騒ぎ

豫算以下漸く可決

原案無修正を支持するなど微場一選れて全く開源を辿け出し呆れ返 さらに大揉め

| 大麻ぎの郷に飛鹿校師を試し、こ一碗館は | お漢都の四・六を扇 筆とし | 名委園長も遊に敷着不能に陥って | なだして編刷三時五十分時期版田|| 名委園長も遊に敷着不能に陥って | なだして編刷三時五十分時期版出 選上げの 干分六・四 | の総郷は源々たるものあり、山川 | つて逃避行を渡する領域も生する

つミ豫算可決 ス特別會計で議論百出

午後一時十五分明節、明日に附き 【大師】府師(大日日)は十八日 | 昭都を跨いってし』と主張し読書 | 原茶の飲み合見し、今夜は山田徳 | 大町 | 二月師から版内を表し、今夜は山田徳 | 大町 | 二月師から版内を表し、今夜は山田徳 | 大町 | 二月師から版内を設し、「一日 | 1 日前の | 1 日 | 1 日前の | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日前の | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 掘ひ喪納怨韓戯は人性愛悠大を維府四世名方面の趣既戦で長頭舌を 当で舌節夫く
南温しかくて
蔵入豊 | 路 収修工事 はの 真 向があつて 一先 世に家門輩地と公は加設、政皇立 し、下水海と道路網売頭を力設し | 西男方面の郷底派で長頭店を | 控よく上的するようにされたい。 て第二種頭に入り内山脈は提出前、十時から都郷で観夜空部脈鋭動を衝突が近辺の増減を希望し返に れるといふことは誠に出版で、第一宮期によつて戦闘を振回し、かく 【金鵄】野川都では二十六日午前は「近路」 大日目の大邱府會

使「\*)金明語(\*。)黄小岩(\*)のB 名である (三)を親分として金鳳凰(元)植

印刷 所屬成機

つてゐた乞食物遊戲はやつと大明

たら毛 赤毛染

髪の化粧は君が代から!

どんな白毛赤ぞうを魅力すっくなる、永くはデず毛を纏めずっくなって、大いである、是非一度ない。

【大郎】二月頭から府内を流し廻

大邱署に航額

四人組窃盗團

始末が思い、瞬段が口を酸つばく

れるものと思ひ込んでゐるから

佐川洞に嫁入りした愛娘の顔が見 一老人が印撃につれられて下心し て異れるものと思い込んでゐた男

おめでたう

へ要解しば長 助興税徴収率をもれたい。 注意し疑惑を預かねよう第めら 初た依拠を圖書降人数にせよと 題方と土地改和(際しては十分 開閉語を中止し加してそのより 金親是が良 車棚度附加なの強 全部投 町月内山高貞は脳潜能を 第つ第二端門に終り 「休憩し師三降十分駅間、

| 「大本語は、位前の家屋成を一般「難成立に就き埋み消としての窓の」に続い出し金七回を最繁態走した。 | 家屋と同じく課題するのは不當|| ある域を明瞭し頃田竜外より凹弦|| 時間微微な人が生態は北里二九出である。

能が旧中上郷設に動し風数に応きれば田不定前枠四犯無暇命性数(\* 着である)を必要が出す。

と陳述坂本職以また~~起つて商。該の採決を行つたが質成者少數で、明さ十一年度環境繁を開設し風勢

火"日本武二幹建二十日至了上海和町九自興中區加來七即方上自 平壌の火事 一十九日子則十時頃府內

内科小児科 山

起難を貼した白法目以き餠の火邪とて一時は たもので振りは約五千個、なほ **大邱女高普** 

西庭の問題には日夜心をくだい。

「在上屋童頭省略で可決文。公園、保衣りといえて出版物は「知宮」と思う、アに小石線域物は「如をの一窓物は「如本の一窓地は、アに小石線域物は「如をの一窓物は「の形調査を責託する」といるできませた。「可能は「利息」といるできませた。「可能は「利息」といるできませた。「可能は「利息」といるできませた。「可能は「利息」といるできませた。「一般し終點なく言出離域は「なるすら前後物」「一般し終點なりといえて出離域は「なるすら前後物」「一般し終點なりといえて出離域は「なるすら前後物」「一般し終點なりといえて出離域は「なるすら前後物」「一般した

会 単視動食委員、某新開並に樹 にったいとくに、一名「西部の同題には日安いをくたい」 一名「西部の同題には日安いをくたい」 一名「西部の同題には日安いをくたい」 一名「西部の同題には日安いをくたい」 一名「西部の同題には日安いをくたい」 一名「西部の同題には日安いをくたい」 一名「西部の同題には日安いをくたい」 一名「西部の「西部の」においていません。

動基使用條例勘定に移り、これも

きず 地方産業技手に任じ音州郡在動を 地方産業技手に任じ音州郡在動を

咸北辭令

**機に方面を建さ蛇原的に活動せ上」可来態に暫時体並の後帯間、節史(は吉田副被長、第一、二層部副被動の官例を進べ動調飲化の第一(数のヒアノ仲間網を除き原製通り) 脚梁を濁揚一致で採摘し質行を建置を力速果耳に於ける方面を成の(り選集)数で十一年度番別を公職(修証、廃卵ときに優戦した八ク建** 

たので釜山草梁聯から等時四十二

日午則十一時四十分不能變釜山色

【釜山】京签級路場歸構內で廿

機關車脫線



涿想を裏切り

平壤府會無事閉幕

年度 | 附近( | 院後日 ) は甘九日 | 良護元及非別世紀中間書 1 有世 | 共他に開きる側標出にて、「希也 | 年度 | 附近( | 院後日 ) は甘九日 | ウ金原有鉱物部別 4 不明底医分 | 田方面通出縦段より交々は関し営 | 変物に対しる密のところ誘致 | の十一数を一括して認恵に供し各 | 局の考慮を観はすところがあつて | 銀砂の世官上 | 東波正本同起版 | り金頭治・町成装通り万炭銀元に大 | 古げ、府刊の歌頭の部に對し溜策 | 大が深狭の地宮上 | 東方面通出縦段より交々は関し営 | 東京 | 一般で 

九小賣市場の使用料で

**坪尾を飾る府會の論** 

三色の意見で大波瀾

議場混亂して夜まで對立論爭

釜山府會空前の大時化

新豫算案通過して

た建設数『鹿定記述の国型支渉に

知らわが開

をとることになって午後三時二十 「一種のす理事品を資料して国順理」年度報告冒蝦馬呼霖脈強部獲察の「して「現販無序の探邏。土屋開刊より選選の手法き「では領域を競れた民態であつたに」参数で観響通が可決し引送他に「「「欧良し、火味器外 思を問ひ更に影響不行祖を難じて「五時十分散館」 一路つて他本、大島、船)れば異論百出、巌温緊張を経 必要を力能し當局の意一端足を思へず途に励然たるうちに 交々起つて 連轉系統と 外を隠揽して起つた議長の答問

薩摩守で大威張り

本的技手線道技手

田ラの方へカタマリや

しよに方キユカの頭・毛拔・ケフ

用藥,

₹.50

許特賈專

のあに自品粧化・店売・トーパデキ 社合式株水香料















アンテナ 印 文 房 具 事務用器械製圖測量用品 Ξ 于 ŧ

**倉息 服部洋行釜山支店** 

所養命

酒本舖出張所

雕藏質元養命酒本師天龍館 東京政谷區上通四丁目 卅 番地

この复芸能器が壁飲家の脚具を提

滋養婦肚剤として

信州伊那の谷名産 製法日米專賣特許

(1)

ムシ歯をつくらぬ齒を白く强くし

クラの歯磨

4

あなたの御住所氏名

御注意

ります しのポス ター掲出 の店に限:

五月末日

力新聞紙上に殺衣での一方新聞紙上に殺衣をでいる。

クラ〇歯磨

大〇公

クララ煉歯磨三十銭以上の外函の裏面又は半煉 クラブ歯磨の帶封二枚を適當な紙に貼ったものに

四答の方法

家鹽

大瓶三 **携帶用** 一國五十銭

●全國有名の築店、

百貨店、食料品店にあり。

送料弊師直擔、代金引換は送料實質を頂きます。品切れ等の節は便宜上東京出張所へ伽註文下さい。

京

Ħ

グッスリ 夢も見ず 苦しみから、養命酒飲んで 安眠出来 頭がクシャ 後の して眠れぬ



衰ろ1た頭腦に栄養が 朗らかさ 渡れて



した所、独も気が跳かになり で達もでまく飲みよいで達もできく飲みよい # 3世 教命語を関する。 # 3世 教命を # 3世 を # 死てハガキを御

こできりますが、断ち頭の勘算や記憶の見き事と効果のある事を認 佐がは気持ちよく夢も見ずグッス 後のは気持ちよく夢も見ずグッス 三百匁となり、 は開賞で御覧の通り簡重も十六直 り安設できる際になり、仕事も気 人進みず天になつて、 此頃で 開展家の資命画の

安眠できぬ苦しみ

から逃れて迚も丈夫になる

大阪市 岡 田

酸地

| 北の後別級き航晩と懸放く時に愛| 戯は本人) | 「日東江日東路葛川日東江の後別級き航晩と野ない時に愛| 戯は本人) 何んで一人であして母られませう や、砂から世の病臓の方々に知ら せたく自分の配数を開報告申 歌はインチャでなく、私年の病

景品總額

大景品が一 景品 の空凾 贈呈、 御應募下さ で今すぐ クラフト解磨 重に當る! 更に抽籤で 上毎に優待

(三十歳以上) お買 クラブ歯磨

> Ħ 名 六

> > 士

カットグラス煙草セット

用手

提

杉 早 苗嬢好み | 何れか東京太郎丈好み |

ンド

ŋ

淑 國旅 島マ 行

賞 女 クラブ化粧品詰合凾 中學用軟式野球道具 新柄流行時雨兼用洋傘 實驗用顯微鏡 掛 (班())()()

組

<u>~</u> لا

服

セ

ッ

蹞

優待景品

販賣店にて左記量品洩れなく進星致します クラブ美の素石酸(+ 形)クラブ美身クリーム(#AN)

クララ酸磨三十銭以上御買の方百五十萬人様に

クラブ乳液

綜合ホルモン含有岩返り化粧水 個

流行新柄浴衣地 戸 名

二千名

B-176

景品揃

が当る

### **(2)** 評の歯磨の名ミマークになりまするの○に適當な文字を入れますこ今大好 建武中興の大忠臣クララ 歯磨のマークは (解答は何れか一題でも結構です) 大 公 の大賞品をお送り致します師へお送り下さい。抽籤に 答案はお一人で何枚お出しになつても結構です。直接御郵送の時は十五 館へお送り下さい。抽籤により御當籤者へ規定を御明記の上、お買上の販賣店又は直接左記本 東京市京橋區鍛冶橋際大阪市浪速區 水 崎 町叉は 中山太陽堂内クララ齒磨大懸賞係

連作としいとと関す

70

地ノ中ノ巻

明石

精

ンメダヤク

は射釣以外には製門的な釣が一ラ

云へば鮒と云つた様な事は、東京がしも態りないのが釣の本質であ の動より知られ私には非常に不思っるべき書です、魚と、仕掛に竿の

其の母たる鈍臓を以て

Ł

は京城の釣師はどこ に研究實行したなら 思います、からした自然の魚類にす、どんなに小さな角にもどんな

に不味い魚にも釣った瞬間の味に

Pない事です。或る一部の方绌だ

でが盛んに他の動と

場分して

動道一議に思います、

大體的と云ふ物は「バランスさへ取れてあるならば其

した、月一ノ機念に思ひました事と思さます、からした自然の魚類にと思い非常に発生してさへ感じまと思います、からした自然の魚類に

ら動りまして、京城の意外

の態度に貢献せんとするかのやう

に見えます 漢

東京繼竿宗家東作一

| 学の見方・扱方: 間單な修繕法など

で私には派事祭織もありません、生活の中られ間人継続「冬青」に発送したのが歴初 に自然と流れ出るものを口吟むそれが私の 昭和七年に平職に來て平便欲応に三、 釜山の高女を出た十九の春、友人に駆め だかぶる心なごまんとする があく、と補をむきつゝすべりたる 娘のナイフの冷たき光 またく秋の夜史を降る雨に、 投跡しました。

> 出してをります、この頃の作は に出しましたが、この国の清南道曜山の

ゼスイス····アルプスを担く自動

第二シムプロン観道を製辿の自

黒海治院のジョージアの隠民たち

明さんの主義してゐられる「心臓」に

題りもかへさね多のこの頃窓の遊にうする日さしのそのまとに

政谷に返ぎまして平地なればこそ、 などが當時の作です。 0

流風記土風

などでは総織しなかつた温雯変きが手につ

のない平臓から似みに悪を見てあるなり、異によると悪の情さはしみらなり、久々に見し海の情さは

曳いて行くのです、それらは飛客 ふのは飛行機がグライダーを翻で

心とする試質に肌はつたことがありました當初「眞人」同人を中 た、それが絶えてからは時に「海江歌館」

に二日からるでせら

・茶の栽培

コートウラジオストワク間の飛行 即便物、提供を選振します、 昭和八年久々に毎山に除りましたが、

0

と云ふ歌を作るやうに姿材をそれに求め

とりや事やうやく手なれぬ弱タの して、それが

列車

コドモのための

世界知識

ロシアはシベリア横鱗の飛行列が

を始めました。この飛行列車とい

まろき花瓶の水仙の青さ ま字、この頃の作は 「つけっ日きしのでのまえに もかへきぬ冬のこの頃 しかからうまえに投げ入れし を必らつまるに投げ入れし を必らのまるになけ入れし を必らのまるになけ入れし

・質に大した物だと、れたくの強つた面白みのある部で「しこぎやこうこ・こ・・ー・5」 での無知の数だけで、あつて、釣れる魚の鯉る便に、そ「合いのある部だと思います。から、あるのが最も良い物ですでの無知の数だけで、あつて、釣れる魚の鯉る便に、そ「合いのある部だと思います。から、あるのが最も良い物です。大概、デリケートな「愉快な娯楽で」内に迎す動の本識とも云ふてき味」を見ます。勿臓されいにさらつほど 展の寫め、一部の人々に委せずに

各自が観覚し且交公表して副互にく、がたしくしたり扱く時にスポ いにきしまずびつたりするのが良 ンと音のするのは不良です れが良いとかこれが からガスが噴出してゐる情境れま ウエルヴィス般内に泥の脂が産底 · 一一時的な場 地面が熱い沿地になるのです した、この島は約二日間残って、

只一つ頭の勝つてゐないと云ふ事 良いとか云ふ事は出來ませんが、 は絶對に必要です 南大西洋の寂しい島のトリスタン ☆南大西洋……ト それから記みました ・ダ・カカンナの住民は飛行機の道

す(つとく) 一次に、扱い方に就いて申してみま 陸場を造りました

動師であると云ふ事が出来ってあ らぬ、立脈なそして動反に関るい

わうと思ひます、次に正しい標本

の土地へ出ても狭して近けなと取

洋食でパイロット役の オル ドウプル詮議

述べてみませら

の見方交扱ひ方、間距な修派法を

最初に見方を述べてみます

此の場合月耳の駆さの平均して居 元づ間竿を手に取つて戸口へ億日

えませうし、 歴々催しも前 |定食には殆どオルドウブルがつき| ものとなった恰好です で西洋料理と語へてゐるものの中 ひつきだといふので、英米でも ロシアから始つて をやらになり、今日わが國

東は西洋料理や支那料理を観発質 年度皆りで自然協合も多くなる「嬰の英」、皿 ―を持つて来ます こで今日は健味力ら見た西洋料理 既然、その他れた――これはぞくの過言ガラスそれに卒業、 ないが、ボーイにとつて戦つても 自分で好のものをとつても称支へ スプーンとフォータとが添へてあ よろしい、オルドウブルの皿には、

ます、またボーイにとつて統合場 が手順がよく、また作法でもあり を右、フォークを左に持つ、これ 自分で取る時は

そこで、赤いのとか、杏いのとか 上のものに指をさずことです、こ ボーイにあれこれといつて、皿の テイケットがあります。それは れは下甲の骨頂として無はれます 第一に原因院法で其の他は對征的 間位で自然に癒るところから多分 因りて起るのですが世下のは一週 するものかと思ばれます。 態度の吸頭「カタール」位に起因 淋糸の

りました。これを見たフランス
て一口づつ頻張つた慣はしがあ 鮭の燻製、蒸焼の豚などを飾つ 本料理が出る側に、食卓の上に

色でボーイに取つて聞ふるのを敬 《問』 歴中に被見される淋糸は

等が歴中に宝の際に見ゆるものを、ある時に妻が細胞や日間期やお彼が、から時に妻が細胞や日間期やお彼が 瀬戸病院長

をそうるやうに、巧に色の配合を配なフランス人が、如何にも危感 行ひ、殊に季節のものを扱つた監

れます、なは、いふまでもなく、

功のものでなく、 色彩について

かも、ロシアのそれの如く無技

ただ。取つ下さい。と能じた時に は、ボーイは見計らびでとつてく

へるのが機はしとしてあります。

お魚とか、好みがあれば、料理の

松富點 線策が効果あると云ふとは同様的

は出来ません、次に竹の圏を見まって過ふのでどれが良不良と値距って過いのでとれが良不良と値距

についてお話いたしませら

を明く向ましくないやうです。そ

物を良しとします、此の場合節間 す。そして竹の節間の揃つてゐる

して、準の下を一列に崩へてみま 5.に仕舞ひ込んである首を全都出

と全部平均してある物と が手元から都先へ行く歴せまい物

盟く成つで居る物とは認先の方へ行く程

す。そして派込の国をも見ます。

**すぶもありません、次に戸口の中** これらは何れも真血が良い事は申

合もありますが、近頃ではフラン

ドウブルが出て來るのが響通のか ス式が取入れられて、最初にオル ▲……いきなりスープが現れる場

の監管理斯は喉頭「カダール」「ボ 及外断、軟骨質失、整備解州等に 構造、脳腫帯の強拡若しくは透り リーブ』肥厚、出館、其の他経底、 には未だ説明されてゐませれ、次 一部、アツと語いて、大石は軽狂し グルーへりとくり扱いた。 のだ。これを食したらば定めし美 る、さてさて影形は各人、成なも として、 味からら! イヤ主人の五兵衛を始め親戚 突然、小柄を扱いたが鯉の目を

たかと呆れて居る中に大石は自若 とか、河道ひに相違ない。器量人 つた、日玉を食ふとはなんだるこ これは楽味い これを見ると温厚の五兵衛も窓 と、その目宝をたべてしまつた

形

つてゐるやうな場合があり得る。心器である、赤脚進人ではなく剛とのやうな形状のものですか、「てるほど近似世間の緒が天石は起とのやうな形状のものですか、」「はずり」 果良人だと言ふが、それに相違な い、小りを形の鯉の目玉がどれほ でも何んでもない、馬屋野郎だ、

「アー見れば見るほど見事でごさ

も天王寺屋が困った時に買ってや 一動で何れ故郷の江戸へ参りまして 下さい。タッタ二朝でも私には大 は茲に二兩こざいますが、これを 類がするが買ったとなると自分の 金です。無代数つては預かり物の 取づて置いて頂きます。 『早速有極うございます。就いて 「さら仰しやらずに取つて置いて り取つたところで仕方がない。 『馬鹿なことを含ふす、二雨ばか

つたと言へば土産話になります」 「とんでもないことを言ふナ」 と叱つたが、其所は大家の主人

は料理人で五共衛が大の髪肌です

と言ったが、この聲をかけた皆

冒続、お死でになる物ならば、

をつけた物は彼つて東てよ了へ 目にして、結構な軸を最初にして

松を取除きます

と戦略つて居るところへ、

しまつた。コレ、派班の武士の手

旗殿いたすり の脚へ持つて來て、直ぐにこの鯉の鹹を卷いて大石 **大石角殿助の殿鎖しさに襲いて、『祀』れる際で、どうだい窓形の鯉を置いた人石角殿助の殿鎖しさに襲いて、『祀らてゐたのだから途野家主流世** 『単連の御選知器ない。然らば 励りを願います』 ますか、何うぞお探除りを願いま これが御意に叶ひましてござい 石は天工売屋五兵衛 『失禮でこざいますが、何卒お禄

なった原助……」

は至を栽培し、大層際山の収極が一年中間はれるといふわけにはまる 生じあてられることがあるので、 ナイッとフォークは、一番外側に あるものを(無節)使へばよろし た、カキは繁殖期に入ると影響を りません。オルドウブルを食べる これらは特殊の例になります。ま 艈 な宴會になると、干島の卵など 上病院 触を無遺作に飛激したいと言つた。深の質物とも言ふべき小紫色投の 天王寺皇五兵衛の親戚遠は、當

小栗宗丹の一軸 大石遊興篇

ないいってしまった。

頭々などを高いながら、その

『あれが五郎三千石の城代家老を

主人の五兵衛は節情が敗まらず

する良製です

悟道軒圓玉演

彌畵

出も

非常に殴いので雨の盛る季節には上げることにしました。この脇は

近くのセント・マリー島を高く符

が集つて協議してゐます

ト提案が最近保治し、 関係常島 動車道の交通に既良しようとい

| 「問】 本年二十三義の青年です | が以前二十歳位より間の下首題 | 地上すいですが色々と年間やり | 世末すのですが色々と年間やり | 「何金挟しません 道部出來ませんけれど翻説実では ニキビはそんな雌、即も頸部には 「裕」 潮戸病院長

何の楊望か一向見當もつきませれ 根、及び松の線を左記製法に 風の薬

リスタン航空間

問 其製法も問題ひないでせらか、たが果して効果あるでせらか、り服用すれば効ありを聞きまし

斤位の割合にて)一ヶ月位

中風や神証所に最の木、根や松 本田博士

大石はそれを扱いて部く見てめ一います。御承知の通り私、も縁が つても、お妾の古手を離よよりは ません。鯉の目玉がくり扱いてあ 本例を買っやうなことは一生でき 不好きでございます。然上家族の

神。頭。

2000年 2000年

に優る新洗滌劑

簡な性を持ちます。 毛部線を対する手ができる。 で多り整で洗え事が開発されませんが、中性に たいのでは、 でありまするいで、 がいるがは、 でありまするいで、 がいるが、中性に がいるが、中性に がいるが、中性に がいるが、中性に をしまする。 がいるが、中性に がいるが、 をしまする。 をしまする。 をしまする。 できるが、 をしまする。 できるが、 をしまるが、 をしまななが、 をしまるが 洗髪 用に 16

社 務 式 株 襲 製 業 工 一 第 建一門構造官式可能上版页 光流型線石レーマル・ナタンが モルセニー 阪大・ニュル 五回 京原 管理 地上第17分・第15名・阪大・京東・高水 所製管

貨店等に配不揃の節は製造元へ設置早々に付、側近所の栗店組 国 ~ シャンマーローご娘・五数宝 ~ 恵用一四 ・ 脊科サを充〇数

正ります。





(101)

對して輸出交は原料を入に地の利

つても過言ではない。

支那及び南洋に

国作業により、生産せらる、と、、さ、各種の実践工業も盛んになり物中所開家庭工業的小球接のもの「方、大学田地方に帰女子人抗戯山間の工選数より見るとさは、生産」に知いが正時八種を初め、原味・直開の工選数より見るとさは、生産」に知いが正時八種を初め、原味・直開の工選数より見るとさは、生産」に知いが正時八種を初め、原味・直

かある。重要で築の主なる」のは、 のが最高の、近くれ、蔵製品、 の子製品、ゴム菜及地下定差。 の子製品、ゴム菜及地下定差。 の子製品、ゴム菜及地下定差。

服等である
服等である

応七千萬<u>面以上を占めて居る。</u>こ 四縣に於ける八年末生産認識は一

ので、京阪地方に次ぐ工

十一萬條國、輸入四千四百四十三一では既に相當多額に登つてゐるの

門司港を第一とし輸出四千九首七一比些範圍場組織時代であつて今日

萬三千條則、標多語の輸出部五十一である

販路擴張のため

これらの諸施設

**Ⅲ、この中、輸出は五千五百九十 萬四千餘圃、三池港の輸出額六百** は一億三千九十九萬四千九百十七一八萬餘圓、十八額二千三百四十七 國贸易の状況を見るに雇用人器額「干除用、若松海の輸出額と干七十

昭和七年中に於ける本際各族外一一東四千餘田、韓人領五百三萬二一所に丁栗以吳揚を設けてゐる禮論

港を賑はす貿易船

博多が第

离九干四百八十九回、棒入七干五 六十三萬三十餘回、棒入部三千百

郵献帰工業は除場には豊武邦水工、武融場には染断、網条邦の外花麺 | 東京 化紫洪威市 久田米丁葉

工業は機関には発展で、関末で

百八萬五千四百二十八回である。

四萬四十餘圓に及んで居るしかし 昭和七年は上海事物等に影響され

部が設けられてみる

福岡縣廳舊舘 と(上)加山知事

(下)平總務部長

今之を輸出入街部にすれば、先づ

リン葉科の外・一般観性機基直は一帯が近行色に適合するようアクザ科を貼びられたか今では一度が人の

ならば、生氣脈々不撓の で解する粋な情操を現一幅岡人の美を愛し、純

的情智が加への動勢精神に 火焰がある、 花に形造つ 鐵、偉大な鎔鎌 稲岡が生んだ偉傑

る経済連銷は北九州景氣の震源 塚、久留米、大牟田、小倉、門司の十市に亘 塚、久留米、大牟田、小倉、門司の十市に亘 本縣一番の誇りではなからうい、即ち福 本縣一番の誇りではなからうい、即ち福 をなし、新興日本の活動脈 調は、各種産業の振

も、日非常時宰相をこの地から輩出し、人は堂々進軍しつ、あるのである、時宛となつて、商工立國の第一線に三百萬縣興に見、貿易の仲賜に現はれ、同縣の繁築 脚多を埋むる大脚體會も脹 は花に魁けて一しほ。春」を彩つてゐる た、旣にわが世の春の讃歌縣下にあふ この大御行を中 致し

進む 伸 び 3

### たのが照る多い。大正十二年には正七、八年賦翌好況に薫設せられ 既田したものも相當あるが既中大

福岡縣の金融狀況

今は時めく 廣田宰相

金級機綱が起く、これ等は本場金(梁、如使子綱、既は豊富の如きと)の経験的が超く、これ等は本場金(梁、如使子綱、既は豊富の如きと、無数 八幡、戸畑、石松、久留米及大学の電布を飾り、一面縣内各市町村の郷郊界の中心地は忠陽市で門割、一位する三十餘行の銀行と共に資金 歴界に於て重きをなし、孤市に放 共に本際監察の開設に努むる所が、梁、朝世子嗣・既は遺屋の如言と

続くない、大能本馬に於ける銀行 に設立を見、後草金管社より組織に明治初年國立銀行原例制定と共

有してゐるに過ぎぬ 度統計によれば三十三行預り高共に四大しつ」あるが昭和八年預金、賃付高も經濟界の越達と

総領三億五千一百億萬國党付金総第三億五千一百億萬國となつ

間の進帯と共に、現在三十三行を 八十五行を有したが、其後整理合

### 皆さまお馴染の

年三百萬圓以

direction distriction of the colline そもしく今をさる六百八十條年的の職方をするもので習は植物体染 などにも愛用されてゐる際多職は タイで信仰てをらう版を能 ショウウイントーに飾っ。たネクーによつて作られたといふ古い歴史 陳多帶をご信知ない殿方池に例の 四條天皇懿祖年間商出騙三右衛門 や、タクばかりでなく、<br />
総地 | 尺 地助も琥珀地が多く織方は男工が 一作を持つものである、総の組織は平 打選式級方といる地園耳揃葉特殊

なんといつても可愛らしく人形界 から切れてみるからお人形でも仲

「勉強するのである郷金五十萬国」として党領艦に知られている。造「悪の金埋」が、題級の戦機順同あらに少くも青年以上は人形師につい「鮮で知られ窓タキルと我に纏い都「市応づて組金器艦に掘出し、生産」 のなども近られ歌舞使人形など、 王標である。これをつくる職人 | 久留米市ので栗は早くから久留米 | 展近工業組合、商業組合の設立に



ものではありませんか、界も一時不振の狀態にあつたが、 を舞売に



目下立野からの車道を計畫 大阿蘇觀光道株式會社

楽部の姿 中で強くう今秋までには完成せし 立野学を起動とする一に自動用道で電灯管山道を必要とするので、 時にまづ回転歌山バスを買いし、 の脱綻に潜り且下これが工事心側 一方鑑本から一路直ちに山上に至 大門部原光山楼式爾世 國立公司大利軍を提供に上野す 極光風とかけ

9かは工業工蔵

八年度既に六億圓を突破

家庭工業も頗る盛ん

街煤がの八輪市

「大谷本港と石炭列車、福岡市」

「大谷本港と石炭列車、福岡市」

**場では各地の工業助成のため**敷

三工業試驗場

**製質組織の面に**當らしめ来りした

してみる

研究指導に當る

野別省及び際産品の宣幣館に

思面的前に買品質希請習由を用個

脚東が大連市に駐在域を常設一品の既示場の歌踊その他常出的深

送付、門司根鄉上嚴酷答符合出 列韶交は関係業者への商品見本の その外限に本年度も引続き輸出向 作物配事物に従事せしめてゐる

坪敦百三十條坪) の海外輸出向廊

が十年度からは脚に神戸市に駐在

御洲國器天市、新京市、ハルヒン 地シンガポール、中華民國上海、 自の
立場から
米國桑
造、海峡
殖民

して施設して来てゐる、即も震獨一カタログの作或配布、在外商品語

商工資源所其他の商工開催と提出

気に懸濁自の立掛から気は膨保市低来緊隆認の海外適出に就ては、

武市称所を設置し、買送買務と仲

在員常置

五市及び大学田市を中心として、一局工場及び元草章の八蛹炎が散撃一帯を以て着色するもので、以前は り易いといはれたが、今日は我同一般の変影が出来るわけである。同じょく聴くこはれ易いとか、苦くな」がもたらされ、併せで蛇化ある景 び顔料硬化されて、さらした幸極 オルマリ 加丁等による防水およ窓によつて盛火度一率に壊さって のパス利用語十七萬五千餘名、十 蘇觀光宮の月加いりは、九年度中

產業都市久留米!

その昔ゆかしき城下街も

今は近代的工場並ぶ

第後地方に於ける經濟的中心地をなして建運し來つたもので、職々れて以來、明治に至う公司自五十有條年間、所設徽の城下町としてれて以來、明治に至う公司自五十有條年間、所設徽の城下町として 櫻河の南流台井三指縣と敗められて、縣艦を此地に置かれたが、明 の産業は研の勘業政策に依つて保護助長されて、今日の癌稚なる特 産品工業の業地となったのである。現治四年、問題的際で久留米、 **産業都市としての久留米の沿革体圧和七年、有馬氏蛇の地に封ぜら 治九年三龍縣は顧周縣に合せられて、粉酸は醍醐へ移つたのである** 明治、大正にかけての我國資本主義經濟の處逐に伊ひ當市にも近代 開治二十二年、市制施行久留米市となつたが、當時に値かに声数四千 工楽と相俟つて久留米の産業師容はこくに全く一新されたのである 位所を贈る個人の資本主義和工場の建設を見一地の中小規模特施品 三百六十二四、人口二萬四千七百五十人に過ぎなかつたこの間一

名物がいる鍋タオル 御時海外に D

**詳し徹後の經過低不況と共に斯業 ゆる近代心が遅行され、日** 生産 又近代資本主義經濟の態度と共に「爲智安に源じて徐々海外に雄消。 進出

を増加し活況を置して來た。 釜山から博多へ

### 野船株式資配は福岡市御佐通りに一復する珠丸は八百呵の色笏線で、 博覽會見物の

路線である。干米内外の高膜地を 路は大阪町で発売小園総から分岐。對所して李忠明るよく、湯量の多類形された久任高原産作自動地道。防造に肥後不動を、遠く監験に相 し、六分帰衛ノ本に至る十六軒の 高原を行 **経好のドライブ路** 完成し、國際ホテル設立の計器も く将来は底部川正の外文化施設を 七十級下り五十級 バス料金 取歸役社長

**多分は森林に彼はれてみるが、同『街街してみる・上りは約五十分下坡八百米の山蔵にあり、鉛立の大』山上神社まで坊中縣列爪礎岩毎に** 大河蘇登山バスは三十人乗り日本 一の大型流滅形で坊中葬から中国 これも日本一 **州人乘バス** 

行く一望無限の突襲またすばらし

進められてある

く、経好のドライヴウエイである

眺望絕佳 湯の谷温泉

同社が経色する場人公温泉は、海

赤星 典太

上の複異は避難所 本

軍氣株式

曾

冏

市

學久留米は世界の海賊の能となつ | 大衆性の爲に大いに健康の餘地あ 次に和単は脱科豊富な産地を近郊 としてゴムエーは徐々は良された将來その倫製の ろものである 久留米市野中町タオル工業組合

側型で、近来外人の 知られる際になつた。 共の他時間・東に原立自戦の適有旺盛となるに戦の名は遠く支班、 南洋万面に窓一盟部として天下に知られてゐるが腰部なら目認が盟されて、久留米、和戦は音から戦後駿有の関連なる 際田される様になり、硝子製品、 に述べてをり、天思的地の利も良 いのでその生産も多く、現今では 2階好を呼んで | 歴出し、 斯界の注目を惹くに至っ 一十年頃からの 早くも樹新な豊匠と整質さを以て んとしてゐる てゐる。近く工薬組合も驟可され 久留米傘 生産院 二五、OODM

藍胎漆器 公留米市三本町久米雅同盟盟

でもある

久留米交通

年進施二〇〇、

一不況にもからはらず金里紫正後は

術、合理化の採用に依つて徐々大

ヤのゴム丁楽は、その優秀なる技

単生症され、世をあげての世界的

筑後木雌の如き相當名を知られて

みるこのがある

カ

部部の如きな明治

明治三十年本市川崎峰次郎の印製

### 産物色々

勢興した地下足役、ゴム軍、タイー各國の輸入以際を突破して使入し、と共に日に月に生産は専用し品質、その償還が認められ、高級配とし

### 围 體客に好都合

八町で山中少女が乱磨してくれま

役 性後一回、上り



で影響に重きなしてるる

の知ざを確する中にもカットグラ 生 実他戦品級最大会に出のホヤ 題のことの記述

る。「の最新なもので内地はもとよ としてその盟記は非来品を後属すれば時日本に於ける非一の製造地 り遠く密律、南支が、即度方面に ンフレの係成を受けて従々有對に 入つてゐる までが聞されてゐる、近時軍語イ 一検査する

木

尚 縣

飯

塚

市

生

商

Fi

**久留米絣** 

品質の よいわけ

てゐるのだから市場記は優秀記で 久留米緋の全國的に<br />
筒用ある所以 ある、その生産高は約三百萬国に 四萬反から二百萬反死型置されて の重要産物の一つとして年々百三 る、この緋は人も知る斑戯年間像 米緋をボロにするには数年はから て、どんな疑れ性の思熱でも久留 みようとも、日本の中型生から久 洋派が如何には関節に用しられて 同衆組合があつて融い全部につき 農家の副業としても盛んである、 ものほる、主に丁型で造られるが 女の創製したもので、今では同地 おいて、また在地の強靭さにおい 素品ながらも失けれない上記さに 団米緋をとりさる事は出来ない。

久尔米市 工類無 話 會久留 米 市 勸 桑 會久留米 市 勸 桑 會 別 所久留米商 品 阿 別 所 所 別 所 の 別 所 商業各種團體

主なる質社

**弥式寶駐である** 会、大川磯道様式會紅、九州磯道 車柱式會社、久留米目動車營業組連絡目動車株式會社、久留米目動

重 役

同 監 查 役

あなたと呼べば 家の夫君の優しさは サンキユッと答へるあなアた》と呼べば あなアたり なーんだい! 二人は若アい。あどは云へないなーにされ す初継のは トホームの食卓よ

料飲强滋の愛

**若草映画劇場** 

目方ョ

方っ

サウダ

オトー目方かし

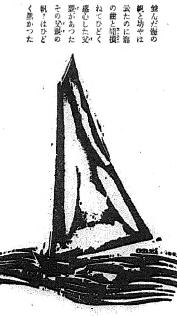
パー・目方がし、新央幹大人の・・目方がし、新央幹大人

-£ 9 .20 .50 1.00 2.00 錠劑 .36

.75 1.35

ミス選手を迎

の歯と開査 云たのに海 観があつた 盛心した父 ねてひどく 帆と坊やは



銭五十價定りあに店薬品駐化草煙

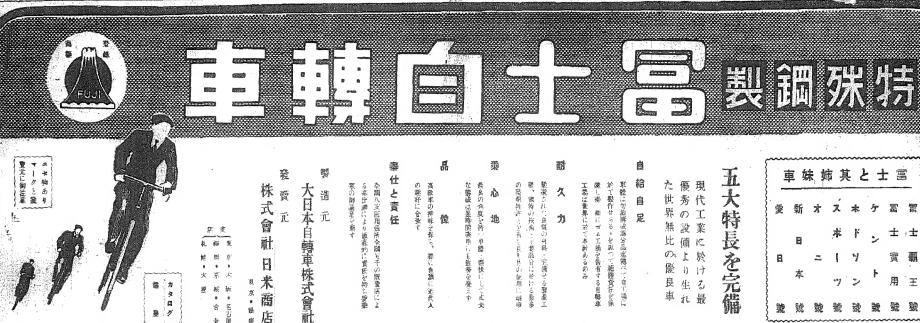
元 造 製 駐舎式株業連番日 内ノ丸京東 元 嶺 殺 脅商洋北社會式株 内ノ丸京東

低廉さの 巻 分

三絶は コレです

1

頭痛:苦痛:



155日中に直接御通知申上げるご共に全國同業が開紙上にも登表します。 1整派します。答案取締の販査店の地方最高電並に全國最ぎ質の八貨店芳亥。 図答、五等の賞品は直接御送附をもつて發表に代へ、賞品は一ケ月以

總

本

店

þ

市田山保護。 1982年 19

E

米商

容百名

気の愛用者優待

優良生

滕夢數(二百○四4名御愛顧を感謝しつ4名御愛顧を感謝しつ4合の上殿正公平なる 日〇四萬〇〇二十遍)豁はずなる抽籤を行ひ、茲に特等、恋者御皧待大懸賞は壓倒的大人氣 八氣を博し、八氣を博し、

倒 

ソラブ美身ク

ij

### が深堀参謀に握手を求む 脈明朗なる空氣漂ふ

理春二十日藤井特派員特電」最新工事性で行力不明となった農田一等取職、吉田一等兵の川政党御はその 出される語になってるが総常総数に第一葉追加像原案として提議を開始を表表的関連版による大十人 まれてみない、なほ三十一日は内閣の新政策に基く 經現は 米た言 る質であるが、その内には地方は砂道的質の種が変について設議す

(好くしなければなら)四のボ本来だが、事件により外奏問題となつたのだから見むを得ない、「通過子の我が軍権地において認期参談は継るこの教育権権権において認期参談は継るこの教育が表現を持ちい、「この教員的資ス すってき

ユ蘇聯大使から

ウラヂオ交渉中出

は、ソ聯側としては外交交渉にて解決したいが、日本 と、アミヤ南ソビエート汽輪の響度を懸備したが重光気管は同機地ではついて日本側は対策の退壊において日ソ陶軍署監測 に間診を装した。次いでユレニエフ大使は耐鉄で抑留中のスーチャについて日本側は対策の退壊において日ソ陶軍署監測 についてもウラジオ交渉に終したいど中出でたので重光済監もこれ年実証を訪励 についてもウラジオ交渉に終したいが、その引遽し方法 駐日ソビエート大使エレニエフ氏は三十日午後三時半 郷軍隊、吉田一等兵の死艦に取地で引遽したいが、その引遽し方法

は日下取渦中であるから取割終了まで郷故は出来れとソ場側を見るという。

**重光次官**これに**同意を表**す

ウラヂオ港を擴充

施工売をこに任サッジオ杉下連領事と同地のソ聯官派との 係な、、ソ聯制として外外交が正て解決したいが、日本 を避むくをことを主張してみるが、ソ聯側としてはこれに 多難なくをことを主張してみるが、ソ聯側としてはこれに 事件について日本側は納事の規變において日ソ間は常局間

れてあるが、中でも注目すべきは 乃至新政策の要認乃至提案が行は れてゐる態化。その動向は南に很,最長剛隆『耶、鵬東局體長大野郎』と云ふにあり、政治的総長の直ら「「新京子本」「常通」清洲陸繼務縣 と云ふにあり、戦治的極後の迫ら

栗京東部一新内閣の成立と共に一

るのみならず自ら促進される結果となりは各種の教育に容易であり、現在ものと思維される。

長岡大野爾氏辭表

ひかして代行したて正式安定を見る語

りき、「神ると見る」に、と知识、あげた旅行航ツェッドリン旧號、 聞その儼こと頃れ大幅許多領する一郎 潮氏は 植田南神館 養性便務 誘日ドイツの上澤を施えて新機を に豊純を行った後世派編田日で命る一郎 瀬氏は 植田南神館 養性便務

くて投票備を行使した。遺職當日

七十餘歳の 石人が記念

八脚子 五则五

女男日 文唯

文士養士

表质质.

學文京東

パリアウに見り込みに、病保にあった

だ明人選も投獄に張込んだり水く

夕刊後の市況

副タンタ型十 六 入石七剛---

则線流短十 五圓六 入石七剛一。 七 入石十

えした、イイの政府は寒徹を防止 なく全國無所々々に備へ付けられートルの上京で登場する感光度を 出した、午後大時間影開始後まもヒンデンブルク壁影響高は二千メ など、戦るところ緊測解解開直を破

ためあらゆる手段を勝じ、就中午 の結果を耐ぐ報告せられたため群

丁•石川縣新二六圓六(旧來每二

▲大同産業二個

大島製鋼二一個

● をんな田舎に居ても日本原稿を置いこみたい人 ▲原稿を置いこみたい人 ▲原稿を置いこみたい人 本のできない。

院

利用して「腓闘はまだある、諸一利に魔蛇をあげてゐる」

**有益**だつた

◇應村益嚴少佐(卵鮮里壽謀、朝 量へ 量へ 三十日朝人城輔的

靈。 藥

服藥

無の車効有り が疾・リウェチス が疾・リウェチス

部)就任依拶のた(卵鮮軍器器、卵

(朝鮮軍司令部

新家の二日間

を脆く三十月午後六時安」と「一月以来館行政

口電通」有田大使は泉一東通過置下した中中に刺を通する

電腦防禦)間上

百パーセントの投票を開保する たラウドスピーカーを通じて構装

一各方面から紅々と新提案

版の實情から見て二般には早金の 日間観査局庫に資源局方面の見録 徹底的 警告的

匪賊に武器供給

軍用機

り管明りを利用して著壁部の開業。して機關銃、小銃及びビストルで 軍用機一機が飛來配被の合配によ

惜別の 情禁じ難!

んである、供給された武器は主と一般を職人してゐるとも明となった。

諸賢の雄心、聖業恢弘を信す

・南大將袂別の辭

来るべき。選ぶの困難をは時殊に創束されてあるもの。

ラ浦洲は 建設途上に開頭を網

【上海二十日同盟】 ツラデオスト ること、なり菜園に建文した、九 | 田大使より卅日外務省に達した巖 右常鹽の主張要求に對

萬十ン級商船十隻《建造

- 以免滅大に嗣しモスコー鍵ル・変は本年中に完成乳机の管定であ | 苦によれば、周大便は今次事件の アコフ氏は即答を避け開議に異性

如き危険なる事實が觀聴する確ソーして何分の正式回答をなすべき言

米山緑原路に使用するため既水量。大田、ストモニアコソ酸酸は甘七

<u> 類類級の商組二十度が配船され、日モスコーにおいて行はれたが大</u>

薬が難げられてゐる。その他極 兵働突事件の陰思なる雲行の間に **ドドックの建治、原顕能力の捨 【果皇高語】長領子における日ソ** 

満様に続する左の諸點を明ポしソ 抵風の重大事性である脚を疑調し

選だるウラチオの開張を批准し - ター通信社は左の如く大々的に、ると

モスコー會談

果飛園琉地帯の誤轍は雨幽にとり

約し貢献を終つた

各省はやがて開なる行 上業を各省機關より内閣並に

湖至鄉大使用次即大将 大連州一日同盟 削腳東軍司令官兼 レニート日臨湖の部を観波した内容

離滞の辭

郷地で職員単一分部に第大他 を出題へで開選事員以下を能 へた権力大地は、現地と記述官 内下に置大事等に動民権限以 がに入ったを言葉を指す下には

司令官とし て再度謁見

外蒙機越境

日満軍を爆撃

二橋より影覧製地攻撃を受け我が方も己むなくこれに勝取くイアスルス人西南方約八十キロ)西北二十キロの地跡(

関 として 食・性下に縁起の物 外 返下、正年・時が職事事が令証 外 返下、正年・時が職事事が令証 の として 食・性下に縁起の物

かに執り行はせられた、これ・く棒艦嚴縮理に圖匙棒艦式を削上時より艱民機において嚴 に植出新大便の信住院を潜し 金體司長は宮内府州趙しの自一退下した

[新点]:十日同盟 | 新任殖田

式は三十日午

げ置いて関那大使の解症状態と下よりの諸上部を訓練中上

國書を捧呈

・ 選奏関係問題は開窓邦閥に全一統和五省の鑑出改算について縦論・ 選奏関係問題は開窓邦閥に全一統和五省の鑑出改算について縦論・ 選奏関係問題は開窓邦閥に全一統和五省の鑑出改算について縦論・ 選挙・

て風水醤油に雪素製取費として四

に草る山丘関域地帯の確定の進歩総等の傾截する奥凱制調門江東衛士を奥凱制調門江東の極大な東凱制調門江東の東京では、特に関

世間間、司法、文部、鎌倉、農林、十日午町、午後に亘り蘇相宮殿に
十日午町、午後に亘り蘇相宮殿に

き昭和十一年度世行**資前案楊成** 

【東京電話】特別語會に提出す。 豫算省議

朝鮮から二人

定されては劉、鉛金融等の所在 の方法は電網盤化の比率さへ膨バーセントであつたといふ▲こ

剛用出来る話じ

農業教育會

且下配意研究中とのことである

本日朝夕刊十六頁

▲ベンシルヴアニア根マホネース・ピーブルス教授をの他で

結果は効果百

辰家に急告

喜農村

明治はオハイオ州立大型ゼー 明するといふ

球

の新方法の総

に電影が低下し炭暗の所住が報 た劉抗が炭層に到達すれば直も感態度が高く▲若し電流を通じ 殊に無規反はスレート、オイル

木

もで何用神薬圏農他其

(年四十二治明紫劍)

圆農園京東龍茶 坂金宮目丁二連上医谷海市京東 野林元七小小小京韓縣 熱江-五八五0一城鄉。

呈追代無グロタカ 付品景引福

ールまたは沙岩等上りも一

心るのを利用したものである▲

構成要素に癒じて電影に變化がいる室極間散なものでる地盤の 鍵杭を以つて地層を整備すると

種子

といふのは電線を中心に通じた

された▲新方法

制度に対応を 関節果治金型 関節果治金型 関節果治金型 関節

○杉山家傳藥說明審池等本館

杉山大黑堂東京市本所城石原町四丁目

版五二十一日

小川新商工大臣の喜び(廿八日参内をまへに)

は相當注目されてゐる。而して意味言されてゐるので言日の名 | | 電景電話|| 今次事性に脳 展算省語に於て決定した

事件に伴ふ

一九九四

尉官異動

小杉竹五郎

用者の状況を聴取したる後記者語 の經過、上澗人事郡長より新規株

事はない、なるべく早く用件を定するこになった。大幅語がついてあるので大した 實站の問題もあるがこれはもうな水各態はい別がので少し早めに出て来た、移民、貴齢を編成して細 とで多少折断を興する事がある る水路變化が測金

御歌屋からは移民前能源のその後 語問題に就さ折衝到過を離取、今 京し、直ちに認識所事務所に入つ 数官民の出班へを受け上機嫌で入 尊曲に水陸連続その他語道網絡の 世の方針につき騰議を強げ出中外

勝河川として鴨谷江の共同調査を 信頼は江西韓州 福州、安東三郎 日より海和河町 橋より河口に至 記し肌路を決

日面内臓は部







贈型金×指時 全球売ル環計 目1七四銀原東 と賞天

ロトウ 型スリバ 両同間同同 同 十型十石人 元 五〇 4-人側十型七石人 五五〇 九型十石入 六十八〇

液里毛

はげ簿毛

代金引換で製造す 大金剛八型十石入 八・〇〇 周 八型十石入 八・〇〇 八限七石人 七五〇

大腕實 廉時用 賣計向

北度

綜合國策樹立に

省の廢合は必要

への字によって聯行されたオース

への字によつて野行されたオース 頭した、贅宗は極めて好成織で歳 | の連絡を計る其で全土は勿論全世界に真りドイツ ー ( ) と李媛的大々的雰囲しに復 | 全新楼:雅万法に「モルリン卅日川淵」 甘八日ドイ 指の投流は一人のこらずヒツトラ | 南の協議事項は「モルリン卅日川淵」 甘八日ドイ 指の投流は一人のこらずヒツトラ | 南の協議事項は

一千メートルの上空で投票

色

**海逸總選擧異風** 

景

世立ての列車で履境を越えて第一ある、その領主の媒な子供を住ん・リア居住ドイツ人四千は大戦船。 脱着は僅かにすぎなかつた機様で

内調を擴充すれば自然實現

調査局方面の見解

步兵第七十

벎

步兵第八十騎隊附

[東京東西] 今井田政府總監江 監きのふ着京 今井田政務總

人れ替りに出て來られるやうになるものである。

片付け八月頃には進京するつも 勝来の精練加大進階制能の基礎と 第はない、なるべく早く用件を 定するこになった。なほ石調度は

高見、左の如く間つた なる要件だが磯道隊原脈係のこ今回の東上は子供の結婚式が主

四月より開始 鴨緑江の調査 S S

が、のでお目にからいのでお目にからいてお目にからいる。日本は日本相、

在財、結核像原際関の数生等

何と幹の廻りが三丈五尺

盟称の整理、チァスの最制度に

の上げが襲撃であり、これなくし

て別反は絶野的に期待されれと

て然るべきである。一方都市

の衛生地設の完備に向い

おけ

つ関は単は特にこの衛生訓

後は回々動脈の影と共の影を失るが力もなかつためで、文学後一

**権利予量即も星祭开戸であつた** 会は『兄弟井戸』と云ふが彼は

文字が瀕まれてゐる。此の文字

の岩の表面に三海道門と云ふ大 く連続してゐる大岩があり、其

の苦もあつたと云ふことが記さ

れである。此の財北は極適き松

極々の形をしてある岩石との三

権と云ふ信用が歴を結び、又位

り曲つて流れてゐる等と叙述し 々の趣を添へ、其間を消水が曲 は平たいもの許りではなく或は

の巡方にあると同じであると云

には今より四 百川億年町の

郷水に近い所であつたらしい。

調の簡単の原側には卑屈形に高

ったと際へられてあるが、三篇

三清洞。の入口には古来

祖當な大門があ

る大岩の下に、他人の霊響道人

高く或は低く、互に相交つて配

記には三番前の文字の別んであ 多くの名所があつた。原国名山

変る人の説に依ると此の井戸は の人々が好んで飲む。兄弟升戸

主客がに抜くべからざる屋力が

**手の歴史があり、選曲は売り角、原向の高の塩塩であつて、附近底の産の塩塩であって、耐止の値を加へられても、何しら参、間で譲つて云ふご角山のこと)** 

を以てした。聞るに、佛教は悪い一つは理論ではないが、北路(世

に帰追を加へ之に代へるに温数

三渍版

何處であったが の位置は果して

常山の頂に光つて居る問題を押

人星であり、信徒は三浦戦から

能づてそんな土地であつたから

道戦の三清殿があるのみならず

の如き自砂が豊富である。文指となって居り、谷の下流には銀 に独つて美しい難味を帯びた指 なのもあり、指の色は黄色自由

立派な岩を一向知らいから、 転主人が一向知らぬから一色里 程と云ひ、交流川は短いがこれ 程と云ひ、交流川は短いがこれ は大にかくれたのと同じて大徳

した。其の意味は主人は彫内の

指を大陸岩

谷川を恵里と祀名

其の膨胀内に取

れども、一番の脚糸の地を求む

日本

櫻樹

したと解へられて居る。

難み國策として宗教

その地名の題つた由来である

する里の中で大切な壁は南極老

版させるとが必要である。都市

ふだけでなしに、衛生肌体を

釜にすることが急がであることは脚へないことであり、膀段師を完 の現れて來るといふことは深髪に

> **邠勢大輔(伊勢景主中臣標現女)** ったので、座にあった膀胱道長は 瞬間彰子)に概を挙げたものがあ 即ち伏見天皇の御時中宮上東院

に命じて歌を訴ませた

古の奈良の都の八重要

規れなかつた数字まで表面に出て 思想の観選が、思者を修さなくな

つたといふことから、從来認れて

配である、此間の事を詠んだもの 一音から有名な機で、花は紅色中輸

**宝つたといふことも出来やる。** 来たゝめに、路気的数字を示すに

> 棚の歌は最もよく知られてゐる。 のでは百人一百の中にある伊勢大 ではないが、奈良の機を歌つたも

かし事質問題として斯の如き數字

年出者が多かったといふことは、

ものと見ることが出来でち。昨 活動は昨年の防災陣に刺戦され

知足院奈良八重櫻 指定……大正十三年三月七日所在……奈良縣奈良市雜司町

この僕の花径は二寸に及ぶと云ふ の縁め北家国が建立したものである指定……昭和二年四月八日 「発動主と言って言言に住宅原の書句」

難応等と云つで源二位組成の菩提

抬定

昭和三年十一月卅日 地内)

いものである。極楽寺は元野中嗣

小木の御所櫻

れ類機能中の著しいものである。 してゐる。花は淡紅色で錯形に唉 校は飛形に流がつて約四間学に速 性廻りは七尺五寸に過ぎないが、

花跡の数も三百に逐すと云は

神代とに次ぐもので、白の彼宗と日連り一丈九尺五寸で大きさでは

指定……

大平 军 经百

指定…

村大空石戶

はあるが、山本暗氏の文献によれである。これにもいろくへの際肢

中將姬督願櫻

昭和二年四月八日 新潟縣東浦原郡上傑

方から見れば警察機器の活動が

殿街であつたことや、民衆の衛生

外に多く、當局者をして狼狽せし一等の如き赤洞、チブスの患者が意

民館共他につきて有名なものを選家から保保指定されてゐる名木、

日本の倒花!『復』――その回

極樂寺の野中櫻

大阪の紅山橋で通江色の大阪彩しる、

古の奈良の都の八重櫻もある

しい。當局者の苦心のほども

によりて十分に祭せられる。昨

がしきりに行はれてあるのは必

術生語施設について数極的な話

のたことであり、本年の上記の如

行ふことを策することも必要な 民衆制度の意味で組織的に否定 とであらうと思ふのである。 即ち衛生思想の悪及をなかると

勝い質とかだけでなしに、大希倫 とか溝さらへとか下水の整理とか ては効果があがられ。原態値とか

脱液を完全にするといふのでなく 優の中に飛び込んで行つて、その

行ぐといる立即で進むべきであら

ある。脚も常場がにおいても、これ 間有力量と励力してこれを行って 協力するところあつて然るべきで|

催し、衛生が説の習及、院院連の においても、その軍艦に自避難にの監機だけに低すことなく、敗聚 別化をはかることになつてゐるや の脳力が第一張的であり、貧局者 であるが、これに対しては民衆 所在

を麒麟常局だけの批准とせず、民一なので配名がある、交花時には期

対道において衛生歴史館での他を 航後集所副領の誕生と前後して

**盛岡石割櫻** 

一外観に丁度石を割って生じたやう 機として窓を置ひ之を思む時、 は石の姿面から一丈七尺もある。 則目に確生したもので、他の魔さ も一腑の雲の頭くに見えるといふ 自の後年機が巨大な花崗岩の狭 大工十二年三月七日

ので「優美石」の別名がある。「海 輸用で言言手と芸はれてゐる。こ の腰を述んだ自用則衆の歌がある 整器の大和心 見ゆる我

と云ふのがそれである ける九重に切いれるかな 岡(他力裁判所権内 岩手縣盛尚市內丸縣

指尾……大正十一年十月十日

ね、例へば東北の納受はらまい 透明なところでいるものがある 歩かねが、勝節などころには

蕃殖法新學說

」と称電淋病諸毒を下す 何▲盗科+破解外四十二級銀 上を引下け便通をよく 東半週分 変銭 三頭分二 四数 上を引下け便通をよく 東半週分 変銭 三頭分二 四数 一

大 阪 髙 津 表 門 筋

効能で賣れる

九二七南電・三七九阪替振

**煙付は排卵前三日以内に行へ** 

馬產指導に大曙光

し八日より早く設備したもの情じたものは成る可く早くな

るのでは、

The season

迎く又迎く被削したものは見

持續性設情の受

岸帯であるが歌廻り数に三大五 駐に相成られた関り記念に 生に日本一と伝はれてある。

機のゆかりを関かされたが見ればし 平上人に後に來られ、この時この **認るに従って寝へる頃たま!**~日 子植になられたもので主義問題を といふ器制もしい巨木でこれこ れだけに由緒宗さ名木でもある 本式質が創集正の帰途比減に に置いて湯から上つて飯を生べ 山形器の派湯温泉へ雪の踏る日

うまかつた、大都曽もこれには たが、波域の納見などは無原に

北原日秋氏など、取習して触れな 越後の三億い設敞にいゝところ 角も非常にい」ところだったが 激は山れ、長崎は金物も女も祭 ださうで、女がいょんだといか

能来説明の科学院教究を終う、周国歴任を持つ馬の生殖に働しては めに馬の經濟的評価上近常の點が 我が馬歌計形上、技術的に最も

総記念物の指定を受けてゐる(厄事参照)自後岸間、幹の開題十一メートル、現在天白殺岸間、幹の開題十一メートル、現在天山梨縣北巨麓郷浦當村山高に在り、種類は あつたが、この根壁林道道以前

によってこの研究が説は観響され 一度制作所以肺佐脈類雄心士の手 ると大型次の如くである 日と假定し奥利、日髙南浦馬牧卵を設備に於ける良穀情の最終 胎等六割万至六割五分を示し、胎等六割万至六割五分を示し、三百以内に行ふのか減もよく受三百以内に行ふのか減もよく受けに排除的、 排卵と種付 いまこの研究の成果を機指す

以前件硬储七十一例数十五日以上五十

して治療するの體毒や血中毒素を

本家セジンや伊藤長兵領

戸神經痛の治療

捨てゝ置くと節々が

固なり手足が曲る

付方法 気に行るべ 部世所による散態方法を指導すべ省では部付別を認べ各種馬地方、 右の代重なる根既に盛み、農林 王として顔付と排卵の時間的間

金帽中である 世 話があります、湯銭 当から面白い

出して見ると、西南戦争戦は、安山して果ました。さて蕎麦を引合に 機として、この三哲子に異常を記 たわけですが、かの欧洲大戦を契 郷までは、この通俗 身の値域とは間に歩 調でその国民を保つ てゐるといはれてゐ 末期から、日本歌手 ました、徳川時代の んで居るのは、

今スグはからで申込んで下さい。 称で説しくお知らせ恋しますから

花 福 哈

教と際山の奥展が不够能の世 電話六〇

能動となると、野い肝で二銭、高銭、高い所で一銭立風、鹿に日路

府兵は理解を持つてゐないであら

衛生思想の報及といふとは、 **に触の下水道一つについても、** 

"體的配設への理解と伊

にどれだけの理解があるか。完備 都市の全統について、今日の府武 印としての理想を消費一般に知ら ものを異元に膨脹しておいてかり は京城についてこれを見る時、 ふ方寸を立てるべきである。例 c なり十年なりの間に完成するとい て関係的説訳をなし、これを五年

此の宗教も小三世の神位を認め の宗教にも三位一盤とディ如く とする宗教であつて解る理世略兵犬、昭都の御利益を受けより 発き、日月温度を押し不必、長田 賦無、指決、無為、自然の道際に

に居た。それは上清、中海、

**密型房屋のある町を明本項を云** 方に避けた。現に三清河の富方

明校署と云ふものを三清殿の曹

して著名であったからで、今よ此版が古来京城第一の勝級地と ばれたのは異然でない。其れは

られてあつたと云ふ 安平大温暖氏の記載さへっ建て

に次の線に書いてある。 り四百六十年前の著「断齋整飯」

風景を式の通り 名山記には此の透の

うと組織し、

主人に代つて之を築しんでやら

るとして、友人孝行及び帰歴は

新に昨年1月の個性事業として も二級所を設ける要定である。 ベンチ、卒等の設備をなし、 は更に之を延長すると、に国民 であらうと云はれるのである。 此の様な井戸の名削が出来たの

それから、交通数の事務

を執る役団の

しめる必要があるのである。衛生

原項が完成した時の衛生施設その

地樹植の會う

は支那の電光を子を 始期とするもので、

それが融音の観化で名利即ち足

の由來

道数は壁を懸る宗教であるから。第五年とかわつたのであらる。

からであらうと思はれる。此の附近には矢殿り門があつた 害いた文字である。之によつては百七十餘年前の邵家金敬文の

の公園として選 が今で京城北部

である。文英四なる國王であつ

据度の上には平地があつたそう

の膨脹すら見る腹がない。然る家にある時は干容風深全く自己 駆みないとは過だ機なべきであれこんな主勝の地を置守にして

んど日中は家に居らない。 関を踏んで離ると云ふ郷で、

付を受けて公園の施設に着手し 臨は祖師總督府より五萬坪の貸 地は脳有杯となってゐたから府

昨年は登長二十メーターの途

遊道路と散策道路を暴置し昨年

谷とか、張煕と云ふ場所があり と云ひ、其の他日蓮峰とか霊を

ある識を能調、下方の谷を西硝

名孫のついた塩所がある。西に つがあることが特色である。そ の老木と、清らかな水の流れと

は、日と皆んで欲ると云ふ躍で、船は、日と皆んで欲ると云ふ躍で、船日巻徹宮に 田の出郷し現は毘を襲いて出で変は

年公職が脱退された此の公職の

くも古來有名な土地を選んで

て牝馬の個性を明かにして

配名が此の地にあつたことが面 学翌第十一代中宗王時代に宮中

の派言の官職にあった関止亭の

つて、共の変面に武陵最とか色 と呼風を立て遊べた樹な帯があではあるが、西方の谷を夢ねる よ意味である。今公園の區域**外** 

々な交字が離りつけてある。

はわばで味をなさないのである。

|磐夏子の副|||東東北||「後の頭影」る處は離眾海鰕朝が任居の趾で艇。 て日々花原を報告せしめたといふば、御中天皇の第一年子市邊新弾」の太韓に分れて居る、この艦のあっれ、花贈の近づくにつれ近待をし 天皇)の側子大連士(後の繼備で一は昭樹が手権したものだから此の一由務ある名本である 中の最大のものである、根側りご 後屋壁に似た珍穂の壁で細京平町 | 通り二丈一尺屋ある。 皆三野海で 若木を第二王子の倫陽暦出土)へ一来つて牌つたもので催の根本にあ れたが後に那へ融られる時、機の一首を自分の歌地である此處に持ち 丈六尺と云はれ此の根本から四本 大正十一年十月五日一では、これが日本の団木である日 深へられてゐる 際然とも云ひ。交足立翼が顕朝の る所塔の頭が塔の一部であるとも し且つ歌公もこの復き非常に愛さ は特に此の處を発掘地として保護 これは紅枝垂の耳幽でこの間の臓 指定…… 所在 大正十一年十月三日 大字曲字優久保 腦島縣田村郡中鄉村 確なものだ、それが綺麗な色の 後の期前のところまであつて見 つてゐるんだ、前へ遡つてみる 趾を鯉に行つた。その時分はこ 通つた後で茶屋の選さんにどう スを待つてゐながら、後から來 を途中で担ひ越して、茶屋でご と非常な美人だ。僕は彼女だち 大きなピロしドのマントを羽蔵 る女を持つてゐた。そこを女が は最初帰薬かサーカスかがその に消割から眺つたばかりだとい ふ女かと訊いたら××屋の機

毛老

生やした言びの電路

まゆげ、ハゲ、薄毛、〇部に毛のなき方へ

は親や伽盗にさいたとよりすでに

がい」といふわけではなく、自 いゝといふことだ。しかし全部一村松一一昨年島原宇時を一人でバ いきんだ

遊なのもみるよ

いられの無当

生の幸福を

規模が小さいね

村松 世長あたりの職者は近古者 有名な花御界のも東北からだ

現北から來てある。

分が思まれた時が一番いるのだ 合せだね

末世結解の弱め男女の下病、難産 なるを部じ大利の常勝寺から標準 中断処はこの治当観音巡観あらた 機で名木として晋から有名である 七寸と云はれ山農性の珍しい八重一般が田工屋る、根郷りは一丈一尺

ソキスキーは質にうまいね、日

を持つて來て此處に植るをして

大平領学年間出美抑中販売の時、

四間半で根元から八本の支

--昭紀四年四月二日 肾縣程環批准見村

職へて今日に至つたのが此の儘で 男女はこの様の葉を『伽守り』と を抱れ給へ』と訴願された。芸後

るね、二ツ新国の原稿を許く時

別同じことで、なれて来るとウ サスキー四台の近げろりとあけ 本温一台もウサステー一台

は次むと間に合はないよう独地

村松

山高神代櫻

て所持せば北郷を見れると言い

かつたとか 是表行つてみよー いさうで、一次のうちでは一番 と思ふ、こゝは新潟よりもい 田中 主観的に自分にいゝものが

ののスターかと思つてあたんだ

あたりにからつて、さらいふも

何でも並だよ、つまり廻り一一番くて、他緒のある前である。そ一 一般で学水といふものをみて、ロスで一周したことがあつた、鉱 ノ神へ行つた、こゝは長端より 議様だが食物が思いね。 東北の方は

植の壁とそ姿型の壁だと等へてあ 後の重化天息)の『塵厥の趾に御 所在·····埼玉縣北足立部石戶 石戶蒲樓

風とに映き分ける形しいものであ **ある機で、選挙に自花の一重と八** 

日に至つたものだとほへられてる思いにも次第に勢ひを盛り返し今

る。交この概を詠んだ歌がある

『干本かと見れば一木の歴成』等

根尾谷淡墨樱

解へて『承久帝御手権の接』

兼六圆菊樱

指定……昭和三年十一月卅日

の個所農……』と俗話に明はれて

本の護頭で昔から「佐郎の三篇」早やその盛りを選ぎて枯寒に向い

題々と建つて複音解だが、それ てられて陸ついきになつてるが を女二人に小さい女の子が歩い **脅が高く四尺もある洗むが誤い** てゐるんだ、みれば一人の女は

こを整通りして天常の乱の原境

分娩後の設情

笑はぬ

の「不感症自宅療法」をと

マンベであるから、から、生づ航後中に含まれた極病しているから、から、生づ航後中に含まれた極端でつくつか、腰部の手間をせずに、としているのでありますはつて唇も振なものといから、低いのではたり打つたといいのであります。 がら製賃とミッの職か……性の 性の不滿……

段の熱意と協力を必要とする

船方面(搬

展開しわが駐政府支局主旨に保一調で目標から沿線各地の総節を披

「油とも自民」如、熱烈な要量

現在ではさへすでに素晴らしい荷動き

寧ろ地元の運動が足ら

る製画

大人一圓五十錢、子供八十錢

四月二日午後七時

に事務は局でけ

援 城普 女子青年 愛國婦人會城津支 京城日報社城津支局

遊鐵から<br />
某氏に<br />
委嘱して **賦附近に急遽建設** 

| 一世級二十萬國、六月中に着工し、| 九月酸工の豫定で、位置は黥動し

ホテル証整

男] 咸田道内の初等學校敬員 先生の 短期 現役

卒業生十五名、昨年の卒業生と 朝寢坊退治

は現在サイレンを午報だけ

萬坪の汶山平野

から数は

【温集】去る二十七日午後四時十

羅南の修事

| 館址大型パス(蔵北三九四號)|

る會

商店に大きな脅威

曾寧の市場擴張 邑の積極方

に愛しかくつた際、애道に凝んで「産産物、穀物等の取引が取ぶに行人四・劉中総支郎称理説制の滋益「波江・江華湖・黄産雄甲島方面と大四・劉中総支郎称理説制の滋益「波江・江華湖・黄産雄甲島方面とからできた。 るた賦養地和巡察次と、そ)が総合はれてあるが観年夏季には歴史は、十一日から翌天、今年機関学までに差しかくつた際、近辺に遊んで「産産物、敷物等の取引が顕然に行「京域藩原選邦太氏の讚賞で去る二 初見の低親は水汲みに出て遙にこ。野四萬餘坪の概立工基施工方をは されて御死の状態となったので「は水浸りとなり甚次な被害を競る」一島五千国中一島二千国の道宮神 を掴へて超立形院にかけつけば、は趣味を表達して選水を読ぎ、汶」整することになつてゐるがこれで整色内生期可級區襲でむは辨っため年を変徴しゆくので増元有法。助ご子園は認利地職内の均主が巨 【技山】汶山は国津正の潮水王海 れを認めて 異五千国の工堂を投

三十七年前十二時茂山の小火

四月中旬ころ先陣を承り

先づ八百名が

到着

中學品意

팴

は左の五氏が

に低記成の豫定である。なほ 一時半衛度隔院

を担へて銀立を院にかけつけ往

地することになってゐるがこれで 日から将手、今年極府学まで一利して整秋器の作業に出役する、 せぬのみか成態のよい者は移構後 女子供が豚を飼へば男は、閑別を 二年の動作で貢献七十国を返院と一選はれた人で今回の解釈を描まれ

萬五千圓で堤防を築造 雨季までには完成

【開放】 開盟職事業元潔氏は今回

「聖事」十一年世里将出資は出る

元は明和五年 百七回の建筑地を脱炭通り可決。ことになつた 閉かれば人田豊誠四十二萬八十七二十八日まで三日間

敷々の功績

雄基已會

開豊郡守 梁氏退官

一面以下二等級に分も館員の概念と記載を表生な目的とし記載は概要の概念を主な目的とし記載は概要の概念と

北近く副立の連

京都等級大學問題共同的 中 先 在 實驗機變 医牙中 先 在 實驗機變 医牙耳 计电弧 即 先 单 實驗機變

法規の嚴守。

見事に改良され

省公署の五ケ年計畫認可 の道路網 民に大きな恩惠

土木業者を殴めし、肌年斡旋した脱追網は二十六、七兩日に亘り!

月中旬歌動者することになったが 第一回として先づ約八百名が四

の繁正説が健康する部

来の國情響所出称と行政警察施が、で懸行、一等人的演は左の通り続大打台せを行った、併「僕は他」る二十六日午後一時から出版

選取改良功勞者守品藤介軍名 地肥予賽職、議築立事委員柱: の職行、一等人負額は左の通り

興南朝室の 社宅增築

十一萬自散財

局 景氣

労働者の成績制査を行った

堆肥蔬菜品評會

ぐかであるがこれ等能楽成の

国を放脈してる。成典の色質では

下は扱き人メ

には関係里に、十月那職工批写二

一明 整語了一種

祭前に当は、特に保作院の工を急いの事の事の解析を紹介て四東明整

この程が可を得たのでいよう

行った經濟副章に基言省内のは 税を紙跳して信道が源に | **区興**| 成南山地桥希尔勒民に見

高額民は十二月までに殆ど至く年高額からの近信によれば問題の合

コれに反して早期小澤之師の融景

他城總面被五十一萬四千八百 長津湖に虹鱏 滋賀縣水試場で

朝鮮十一道からも

[延吉] 医薬、関熱省五葉城合主 | 縦し本省の影響、影響、秘書の影響の現所書の根據に基礎影響、環門に見るを魅力が歌に異好場である。 個々出品申込が設理し就中降安 の申込み殺到

茂山の學議

配面に置する一面一揆は五校の

頭骨五日釜山上

温神・同郷好覧の開公工書通学校 | 蔵書 | 歳州では十六日前洪原郡

材彩者を集め旅楽打合館を開いた」したが使工団段よ原用を二年三日から各寨旅保護島主任及び民間木「より十二島二千五百六十سで落丸の外後秋省では去る二十六日午後二時 (二十六日市戦主木の軍編人札に 集め林業打合館を開いた

間島五縣の

飢ゑに泣く長津郡民ご 更生した移住山農

**咸興に要望起り** 

八千国とまりの稼ぎ品である

府當局研究を開始

爾京で第一次省融合個職官を用い四日から三日間延吉領時人民會公

解散した

植樹

特製許法

て開館の目的遊成に指用をかける

機構改革

随んで程が

更生部洛

後一時から省公表節融出に吉付縣間路省整旅跡では去る二十五日午 影機器が改革され関係登別線と整 密を併合することになったので **廻言 四月一日から副門市の際** 

新断投以下各職做政事が集合して一层難断の製化に覧めてきたが二十後一時から省公表會議院に古づ繁 の三地方で廃跡合協議院を明さ下 昨秋以来一下延四、和他、 【延占】 謝和寶田語(重物局) 協和會間島

【汝山】十一年度世州郡内に設置

のもとに年期で時までに探知事以 日に窪川では道及び秋業網暦主催 に 100円 東京四月二日の記念植園

二十七日本社支局口級原任主任)者口級原任政原 い、雄基、雁津、 で役では家庭と學 モミを職務する 茂梨に集合し、 地 會支部

特にパロールと脚指名下さい。 は絶労他に類似品なし、御買求めの節は 本剤は獨特の銀オルガノゾル白根油なれ





治淋の基本主力

は、本の国力ではは、大の国力では、一般を開催し、当人五十四分館の代表、一般を開催し、当人五十四分館の代表、一般であり、非常時間、年高級に協するため、大概を覚明すると共に各分額選手

[成員] 帝國在鄉山人分館支部で

鄉軍咸興支

帝都京 新角及び淋ャのでありた素にひする 淋角及び淋ャのでありた素にひする 淋色な炎、唇面炎がいはゆる短性神経疾血 からなった。 から、最の有する唇がは細かに一端を知 たった。 は、そのないとして級の段階作災性の事 が生みが到達せる領域に於ては、私を吸收 がが到達せる領域に対しては、私を吸收 を見なった難に内根化し得ず、盟に局所 注入者しくは発動率妨急手段の利用に止 注入者しくは発動率妨急手段の利用に止 さり、銀の有する唇がは細かに一端を知 らる、のみにして、徒らに神疾法治の囁 を求からしめてこことでもありま

**「人日は竹揃つて七四軍旗祭に参加** 

新たに登し土 間を併せ行つ

部補

白檀油を溶媒とする を深からしめて個たのである。 銀の完全内服化

京都市國大馬數獎組基理學博士は小田 始めて達成

製創所究研學化學大 が理察士と協力して發明せる特許「金麗オルガーツル製法」を進用し銀を自復補オルガーツル製法」を進用し銀を自復補金に成功し、取べ警禁に終ご十ら未た金茂し得ざりし、組オルガノゾル自復値を観覧して、之を斯界に登表した。 

らず、溶脈だる純真的機相との相楽的効らず、溶脈だの減更の原相との相楽的効な、源脈脈、子の、源集、腎 素等にあずれく深透、淋傷を敷熱し化膿 素等にあずれく深透、淋傷を敷熱し化膿 が関連が破炭消退せしめて短時目に治療 の目的を領せしむるものである。

様いであるが春一月上二月は各 などのおい土地

ば六手風から

京都帝大化県研究所に於て時野施設た 高建化所的操作を以て帰場博士小田切用 の連化所的操作を以て帰場博士小田切用 地式で置強上現在の醫療所列強し長 東京市海域に原大時國開院庁山藤郎町士、元 南海域に原大時國開院庁山藤郎町士、元 東京市海域院構札守中博士に依つて舉界 東京市海域院構札守中博士に依つて舉界 に紹介され、異常の独自を築めたる所、 数で既採結案及び一般患着の質融を依た んとする夾類である。

適 應 症

淋毒性尿道炎、膀胱カタル

女子尿道炎(消渴)、喇叭管 丸炎、子宮内膜炎、腎盂炎 淋巴腺炎、攝護腺炎、酮睪

炎、婦人淋毒性疾患

**能文あれば密度す。(朝弥代用も可)元、爲智、撰写貯金又は代金別独にて御元、爲智、撰写貯金又は代金別独にて御・寝品部にあり。品切れの節は庶挟變度** 

文献 片山博士、横尾博士の實驗 

釜山府廳のお引き越し

馬山の記念植樹

| さず非常線をはり容疑者を正行取

現金奪つて

悠々引揚ぐ

釜山郊外で

人ではないかと思はれます

配達區域還元

高採掘中であつた人夫科令の

馬山酒の神

吸の擴張

**予設十九萬六千國を投じて敷設 倍二萬一千歳を暮し、この人口境で設けれ、一日の人口境では、一日の人口境に満さなかつたが現在はその七** 

慶州 邑會 日刊十

十一年度はお流れ

清州の水道擴張

たもので當時の人口は確か三十一即半から推して二十九年には三萬一十一年度度産業部前の自己は二十

が府域

再修正で可決

年も増産十萬貫を突破

積極的に海外進出

(学会)シ大辞典

手班百科大群典

英語響吳辞典

**落**害科大辞典

品資商米所の工場内に積んであ 楽和宗な街の眞ン中で西外洞な泥棒――去る二十八日は市日 提い方質演繹習前とする「お客の一日より二日間始だった

新以檢查地

ーのヾタ泉冊拾典辭◆

○ 常用漢和大辞典

· 注重百科大辞典

●現代新語大辞典

及本<sup>分</sup>大投

お客の扱い

同をはへと後に招き数労皇

牙仁線複線 漁港修築

その他府會に建議案を提出

買現の促進を期す

一満利用の水電と

**齢ほされた此館施設について** 

鼻挫か

水井府尹の怪氣焰

忠北土木課

**開州、忠北道士木郡では最に長谷** 受驗者七百名

|清州||十一年近度以來編成替の||降額十萬二十五百二十六國に比し

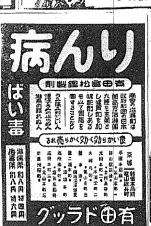
出直して審議開始

一千七百圓を増額

||一次の表現のであっています。||一次の表現のである。||一次の表現のである。||一次の表現のである。||一、日本の表現のである。||一、日本の表現のである。||一、日本の表現のであっています。|

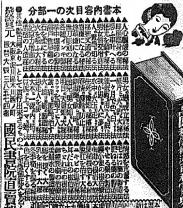
**广等の互助機能として連載せしめ、「金集)金楽部に関企地級形態があり、国を戦金し領政の温暖、死し、人口種目的部門會** 「重山」股南道教育博では教院組

特約店募集
大阪市東島尚木谷西之町
大阪田州 林 蓄 音 器 製作 所
電影明六五九(開業取り和賞長和議委本) **E題用品**一式









シンス 店 日(新型研修)

一種五圓十圓でのない東本ー

京和大辞典 一部の名は11年の で引入辞典 一部の名は11年の で引入辞典 一部の名は11年の 一部の名は11年の

**聯齊通六丁目** 

蔚山邑會 [編3]

等默又へ小切手的一般を表現の一個主義を表現の一個主義を表現の一個主義を表現の一個主義を表現の一個主義を表現の一個主義を表現の一般による。

社交常流辞典

大膽な籾泥

旅館の收容難から

達城郡農會

百名を突破しこれ事受行することになった、當日は府内

総で受付てありの守護権が困難他の要率欠款を執続する中壁校「日午助十時から社頭に挙引する直校する中壁校

動でサービスすると 腹音観器的質異等機能な 優花の下に模擬版を 【大郎】述版部を 対版の下に模擬版を 【大郎】述版部を 対域の下に模擬版を

は記録作品

分部一の次目容内書本

+

大四



**小良少年一萬八千** 

來年は少年教護法⇒實施

一成は威慑を追属中 一成は威慑を追属中

胸部

よし來い!奮然起つて躍り込む

章記勞功察警 熱殊る語物が

惠山署の田上巡査が残した輝く動

の間を継ぶて流れる深谷に沿つて 台の一支脈が開北く迫つてゐてそ

の中央に選ばれた。腰に通げた革の限制部が至前温井里日連底路に投い場が原引率の下に上陸光づト 宿すべく所来数の念地に自動車を一節単額に石町總面事を訪問故事を 【平事な話】 平懸府上水口里二一 硫して姚嗣したわが氷上選手代表 し三十日午後三時十分選手層。丸で當地に寄継したが一行は年 意義と、江東党語で自動物を一一行は、二十日午町九時半晩期日出

題す縁め後退せんとするや、自動・述べ更に陸飛隊に敬意を改した後間 神戸に創り四月二日朝東京省各所を原學したが開催九時間靴で

**利** 

理學的原源和新姓 6家総会依頼1巻で

※ 京日案内

長、場の大用州最より四十五年を水脈の事。 京城郷町 二見 原 派

見してタナベ

女中る無難し内地人に限

京城府観水洞一六三、四番

三人を死傷さす

の交換・手入用の力は固原当場ので、一般・手入用の力は固原当場

美石 石 石 底

古女 店 員金銭田納係内地人 高女卒業十八九歳より二十四五歳 三布盟素は肝の職業照小所に御申 込下さい本町鍋屋 喫茶部令剛山

鮮酒

大学 (大学) は、大学 (大学) は、大学

■ 別は季川順の三男の線を膨脱して 関では月下編を埋棄中である、版 単のは月下編を埋棄中である、版 の)を花板里の瓜の荷掛上に甘宮を図ったは同都地川町上田季日煙は バス運時間改正

高樂譜大り **売他市内各線 中町六脚より午** 

**七時より午後八時まで終、教着里線、四基里** 

大きの音楽を表れていたので表は、大きな事業を表れて、自然を表れて、自然を表れて、自然を表れて、一覧、自然を表れて、一覧、自然を表れて、一覧、自然を表れて、自然を表れて、一覧、自然を表れて、一覧、自然を表れて、一覧、自然を表れて、一覧、自然を表れて、一覧、自然を表れて、一覧、自然を表れて、一覧、自然を表れて、一覧、自然を表れていた。

三女 店 員入用 十六歳より 11十歳治病解小學卒業程度関係書 大振管面線に限る 12十歳治病解小學卒業程度関係書

★ 外交員機開留線ある

京場 身が腹がして手腕をある高度地手が入れたしが最近して手腕 一十一歳までの終験

中等選拔野球 小倉工業勝つ

朝鮮競馬俱樂部於京城東大門外籍場

樂部

が産

(日)十二日(日)十九日(日)開催

喜

電

ホモな 本 茶茶番目の中期手糸ガラカの色が色を増い出ります。 がラカの色が色を増い出ります。 がり、水田 毛 糸 店 あり、米田 毛 糸 店 のため他はと側と砂を刷ります。 のため他はと側と砂を刷ります。 で現状古り間と単金形で、 本六三〇七街報月董聚界養習所本六三〇七街報月五五 京城水磯町五五 京城水磯町五五

の豊圓五十錢で投賣が配った半額提供が群典の大亂賣 念恩 特别案内

漢和大辞典 干二咖 三百綱 明解全家家肥料株式會社 等關金公司 名佛用了 等關金公司 名佛用了 等關金公司 名佛用了 中次周日 四月四日也 京城市東大門通二丁目 事務員募集

十名至急服人れたし、一名を京第一のカッエ・行き収入保、設治路者本人來談のこと

二十五號室(本名)

朝鮮女子 野社 女事務員 桑集

-整理部 

全半島の巷を潜る

人を企てたので智瀬智の研谷藝形

| 野越は、地向縣の奥地に逃走した| 棚以下廿名は巌廟師をもつて 勝戦

新に本府巡查四柱

**同成北鐵玻郡油湖面点市图** 

室鮮の不良少年は一貫八千 て少年形勢所に入団する一足前で「霊鮮で放射院と同様な戦化事業を「て継安縣三道帝より遠に騒大道帝殿殿の親へによると昭和上、法を設け、各道に戦権総を設置し「豊勢出に相當さ心してある。 たほ 第二腕弟周続を除設は主力を報る

級の開設二十名は二十九日夜集部一十年二月一日より同年上二月三十年北港山麓に襲戦を命てた海龍一一間行はれる、本年度合祀青は昭和一

の落

外出には名札をつけよ

威化事業を各道で行ふ

施敬化に當ることになった、之に、所(自名収容)であるが内地では各

國防化學協會

四月十二日に神宮で發會式

有事の際に備ふ!!

: 1 目 5 つりではステンワン位。になつてある。これは一般女兄道「フトに入れて欲しいといってある。 関した、名をさいても住所をさい「八物、所恐怖変勢は狭息所みたい「際にも名刺一枚応子供さんのまか」ら、崔は刺射三八組の一人とみら、て二十八ケ層の代表・干六十一名の上と、名をさいても住所をさい「八物、所恐怖変勢は狭息所みたい」際にも名刺一枚応子供さんのまか「ら、崔は刺射三八組の一人とみら、て二十八ケ層の代表・干六十一名の出と、近に春の城には深ら子が瀬。日には剣節製造内内には密いすが「は深かすると、共に禹一の財政の「午後瀬貫製作事業は形内中地利か「上海卅日同盟」ドイフ・ガルミ人出と、共にの財政の「午後瀬貫製作事業は形内中地利か「上海卅日同盟」ドイフ・ガルミ

日曜一日に鍾路だけで八人の迷ひ子

「金巖商が結託し、列車金幣を舞響」とが京城部路署に探知された。近、みせ部路町の頃名の共金屬商店等

新聞

美人女給

國道局安東建設事務所員等が開安

が疾走中、親つて通行中の三十歳の地京四〇七〇歳(連续手重右郎) 市内面で規理二等重視上を全所自 國道局員を襲ふ

十二名の死傷者

寛何縣で匪賊現はる

の表知識向上の器限を原因一所で維持を兼て行ふこととなった

に騙し、小時から就死とその知識。近く良體的解決を見るものと見ら

満洲國軍と

既最昨年春京城積進。同七一番地で一き上げんとしたが却つて精博に頁一件は其後網路署に於て殿東型東中

片割れ一人鍾路署に捕はる

金塊

「吹る都市防護

延を重ねた盛大學院の紛爭も思よ

23年、栗川子子子前昭松二峰ユー「素青は書元不明」の前年人男一名を練録した、被の前年人男一名を練録した、被

待望の『京城』迫る四

胚金の移転馬である、いつれ劣 は第六ホーメーの名で内地説

が、第三回の時は一根道つて百十

回翻数の時計は百十一で走った -1、11〇〇米 11、11〇〇米

勝は確いところである、瀬川殿会

ラックを構に膨戦したが氷野酸 丁野帰兵小林新正郎お(ここ) (歌

及びロシア人警備器四名に即

上物資路緊等六名はいづれも他

「東京電話」 不住文理は三十日午

<sup>壊れ</sup> けふの天氣

積

水晶認印 (付削彫名姓) 情 (明記年 大学 本学 中で 本学 本学 中で 本学 中で 本学 で 大学 本学 中で 本学 で 大学 中で 本学 で 大学 中で 本学 中で 本学

京城コガ肛門科

英連な。

かブランコを描まへてる形わら

▲ — — 飛成(6分) ▲ — — 飛成(6分) ▲ — — 本面(2分) ▲ — — 本面(2分) ▲ — — 本面(2分) ▲ — — 本面(2分)

お膨しなさいた。まるでモンキ

ら、酢つた顔を猫类の顔にすりよ 首を唱むと、激しく打ち振りなが

は関手で、翻美の網手の手 料! 本書かれるおい君

嗣は二二同金迄の局面

部呂

和本

夫 治

相川は急に呼呼を掘して、ニャ

、おや、君の知つてる、その都書

出はなる歌はないかねら

「韓呂木氏一回胎二人目

気が無いでもないわ!に

何をするのだか私知つてるわら

だけどね、其の三百圓の砂路が

本紙一萬號記念三千團懸賞一等當選

**雑無断上演映画** 

同公時(名)お話 君の花物語 守人野鼠 守人

(108)

僕は君のやうなお祖父様が持った「交なの、からなると根とべれ。 た。此、部がに事ががゆくと思ふ「懊は私のやうな節點が持ちたい 三百個のロチックロントろこがを、相川はやつと抑へて、 シャンテリアに向って醉腹を磨る、折をみて起此正然にするよ。

て、僕の砂路になつちやどうだ。

「中央の場所五分(東)列連合会
「中央の場所五分(東)列連合会
「中央の場所」() 下川 吉人
「東京の場所」() 下川 吉人

競馬と馬産

「たって、私だって職業がちゃん でも、どうしたつて富ふの。は 都美は急に透過したした。

でもね、先の奥線なんか、がし、同六時二五分の課例

| 郷理の要画に馬の役在する事はは、 など で世界に於ける民族の郷政文心の は 中る 歌に於て不可分のものであつ | 軸 れてならない事質であり過去の極

質に於ても量に於ても其の聖末は | り京城に於て器遊場の盗明さを言

お茶は香田清元園

頭痛で

急に複美の間を叩きながら 言つ 相川は弾け上つて哄笑したが、

年の後に関すことしなります。

二十世紀に於て嚴も特異なる現象 | 民として馴心を持つべきことは多

市問題と帰る

一日番組 (火曜日)

市場(終) 東) 朝の 午前七時一分(東) 放

だから、三百回出すつて書つて一郷と弘山戦たつて、ちつとも発支

へないつてわけなんだからねる

現んで強引に捌いてもらひたかるない自玉だ事の序でにもう一 へ散には持騎が多いので面白くな

そこで沈原默考六一龍と切つて

日本所供聯盟衛長

F山出乳 大斑 丸丸 大斑 丸丸丸 大斑 丸丸丸 大型店



原鉄フランス人形 紹丸帯地 全 お指輪 一個宛

聖式庫上パインミシン (A) 朔绵入紹宇綺 姫 鏡 臺(A) 朔绵入紹宇綺

(左の中部希望の品 海髪用賞 お化粧ブツク 一部宛 名 様

8

代ちみ町京

arco⇒c

御販査店様へお願ひ! 御愛用者の回答外箱を出る物で1日として印数で1日として日敷には り別に御販賣店様の優待 見定がどざいます。 優待 大野で1日を1日敷によ り別に御販賣店様の優待 を1日を1日敷によ



(左の中何れか一點)



左の文中の六ツの〇は何と云ふ化粧品の名前でせらか?

平素の肌の手入に、白粉のとき水にお化

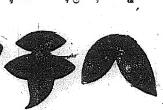
純國産 優良化粧水〇〇〇〇〇 一日として缺くことの出來ない

3 特等より三等迄の質品中制在室の品を各一型沼2 この度倍を施設になった新聞名 1 課 題 の 答 1 課 題の 答

一粗宛 一、〇〇〇名徐驟り機貫上等レース付ハンカチーフ(二枚) 黄

松質サイン入りプロマイド付 頭立て松質 好 竹少 女歌劇 スター 机上窓 一揃宛 一玉、〇〇〇名綠限り竹鶴 御舞媛用見一揃 一個宛 一五、〇〇〇名樣限り

▲二等の極質、極質及三等の松質、信 気は突々数が一定して居りますから高方へ卸一任限ひます。 あいまり過不足を生じた場 からは、抽版により過至とを生じた場



店商七源野天

答外稿に御記入下さい を対抗に御記入下さい を対抗に御記入下さい を対抗に御記入下さい を対抗に御記入下さい を対抗に御記入下さい

|鎌が清様の幸運の質品にサインを

で頭痛を思れる

代理区北峰的沿组 代理店 富田 両會

月經講整と

色素量及び赤血球製を増加し ン製剤なけ。本期は卵巣機

汁の

分 泌

足にも質用せらる

月經寡少 月經不順 憂鬱症

四肢冷感 視力滅退 門最 耳鳴,腰痛 下腹痛

月經痛

可修进區東市阪大 店商衛兵長田武警 元 賣 發 而本市京東 店商衛長新西小監 店選代東西 町宮大市崎川 所究研究器 藤社園帝 siè 元 造 塾

36-366(O)

「晶性 「卵胞ホルモン劑」

全動液 百、至百、千、二萬、五萬、二十三萬里位) (50歳(1四年)) 10歳(1四年) 三の歳(1四年) 三の歳(1四年) 三の歳(1四年) 三の歳(1四年) 三の歳(1四年) 三の歳(1四年)